

令和2年度
神戸市
市民（15～49歳）の食育に関する
アンケート調査 結果報告書

令和3年6月
神戸市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	回答者属性	2
	性別	2
	年齢	2
	職業	3
	お住まいの区	3
	世帯構成	4
2	食生活の状況や食育に関して	5
	問1 あなたは、ふだん朝食を食べますか。(1つだけ選択)	5
	問1で「週4~5日」「週2~3日」「ほとんど食べない(週1日以下)」と答えた方にお聞き します。	
	問1-1 朝食を食べない理由は何ですか。(あてはまるものすべて選択)	7
	問2 あなたは、ふだん、誰かと一緒に食べていますか。(1つだけ選択)	9
	問3 あなたは、食品や食事の購入のために、次の(ア)~(キ)をどのくらい利用しますか。 (それぞれ1つだけ選択)	11
	(ア) コンビニエンスストア (イ) スーパーマーケット (ウ) 商店街 (エ) ドラッグストア (オ) 宅配サービス (主に食材) (カ) 配食サービス (主に弁当) (キ) 外食	
	問4 あなたは、主食、主菜、副菜の3つを組み合わせることで1日に2回以上ある のは、週に何日ありますか。(1つだけ選択)	21
	問5 あなたは、ふだん野菜料理を1日に何皿程度食べていますか。(1つだけ選択)	25
	問6 あなたが、日頃、食育の取組として実施していることは何ですか。 (あてはまるものすべて選択)	28
	問7 あなたの家では、非常用の食料・食器・熱源などを用意していますか。(あてはまる ものすべて選択)	31

問7で「食料」「飲料（水・お茶・野菜・果物ジュースなど）」と答えた方にお聞きします。	
問7-1 あなたの家庭での備蓄は、家族全員で何日分ですか。（それぞれ1つだけ選択）	32
（1）飲料水 （※飲料水の1日分は、1人3リットルを目安と考える。）	
（2）食料品 （※食料品の1日分は、3食分を目安と考える。）	
問8 あなたは、「食育」に関心がありますか。（1つだけ選択）	33
問9 あなたが、今後、特に力を入れたい食育の取組は何ですか。（3つまで選択）	36
問10 新型コロナウイルス感染症拡大前（令和2年1月時点）と現在を比べて、あなたの食生活は変化しましたか。（1つだけ選択）	39
問10で「よくなった」と答えた方にお聞きします。	
問10-1 どのような影響がありますか。	41
問10で「悪くなった」と答えた方にお聞きします。	
問10-2 どのような影響がありますか。（あてはまるものすべて選択）	42
Ⅲ 子育て世帯とひとり親家庭の比較(抜粋)	45
Ⅳ 令和元年度調査との比較(抜粋)	48
Ⅴ 調査票	50

I 調査の概要

1 調査の目的

令和2年3月から発生した新型コロナウイルス感染症により市民の健康や食を取り巻く環境は大きく変化した。この度、コロナ禍以前より食に関する課題が多く、なおかつ、コロナ禍において、経済状況の影響を受けやすい若い世代を含む15～49歳の市民の食に関する状況・傾向を把握し、今後の食育推進施策を検討することを目的に、本調査を実施した。

2 調査対象

市内在住の15歳以上50歳未満の方から5,000人を無作為抽出

3 調査期間

令和3年1月4日から令和3年1月19日（1月31日回答分までを本集計の対象とした）

4 調査方法

郵送による配布・インターネット調査

5 回収状況

無作為抽出：回収数1,234件（24.7%）

	全体			男性			女性			無回答	
	標本数	回収数	回収率	標本数	回収数	回収率	標本数	回収数	回収率	回収数	
15～19歳	1,730	99	335	843	38	117	887	57	210	23.7%	8
20歳代		236			79			153			
30歳代	1,635	416	25.4%	808	147	18.2%	827	265	32.0%	4	
40歳代	1,635	478	29.2%	778	155	19.9%	857	320	37.3%	3	
無回答		5			2			3		-	
計	5,000	1,234	24.7%	2,429	421	17.3%	2,571	798	31.0%	15	

6 調査結果の表示方法

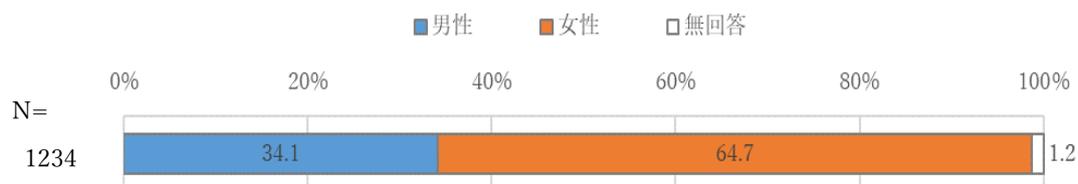
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してある。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合がある。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合がある。図表は、割合の高い順に並べている。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがある。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法である。
- ・調査結果を図表にて表示しているが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしてる。（無回答を除く）

Ⅱ 調査結果

1 回答者属性

性別

「男性」の割合が34.1%、「女性」の割合が64.7%となっている。



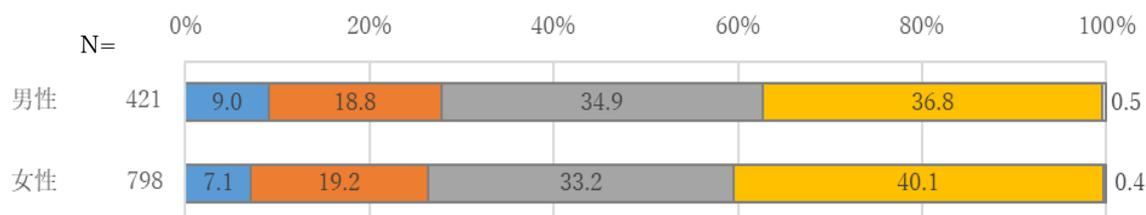
年齢

「40歳代」の割合が38.7%と最も高く、次いで「30歳代」の割合が33.7%、「20歳代」が19.1%となっている。



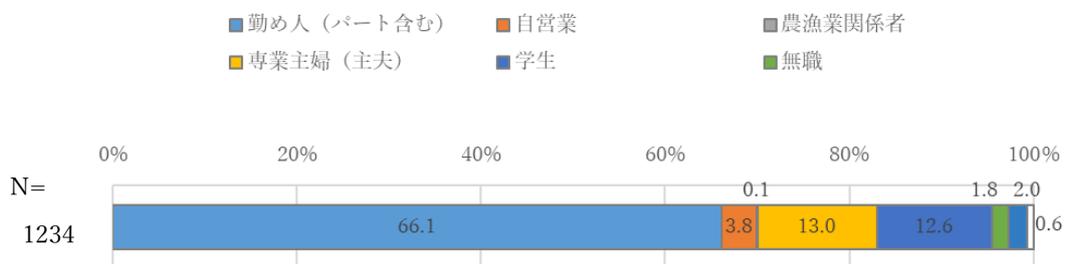
【性別】

性別で見ると、男性に比べ、女性で「20歳代」「40歳代」の割合が高くなっている。



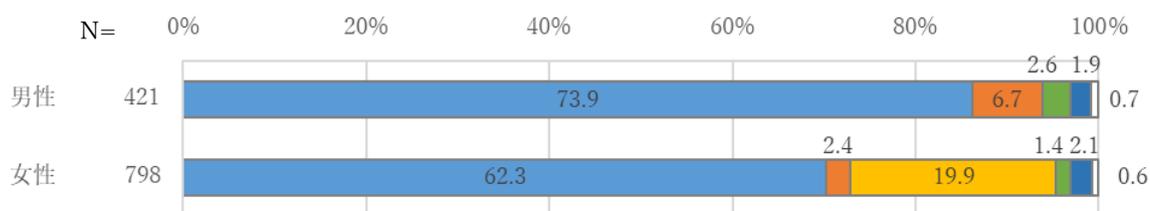
職業

「勤め人（パート含む）」の割合が66.1%と最も高く、次いで「専業主婦（主夫）」の割合が13.0%、「学生」の割合が12.6%となっている。



【性別】

性別で見ると、男性に比べ、女性で「専業主婦（主夫）」の割合が高くなっている。



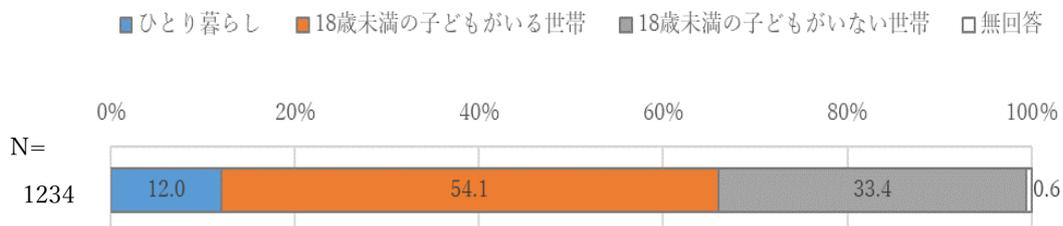
お住まいの区

「西」の割合が15.7%と最も高く、次いで「垂水」の割合が15.5%、「東灘」の割合が14.3%となっている。



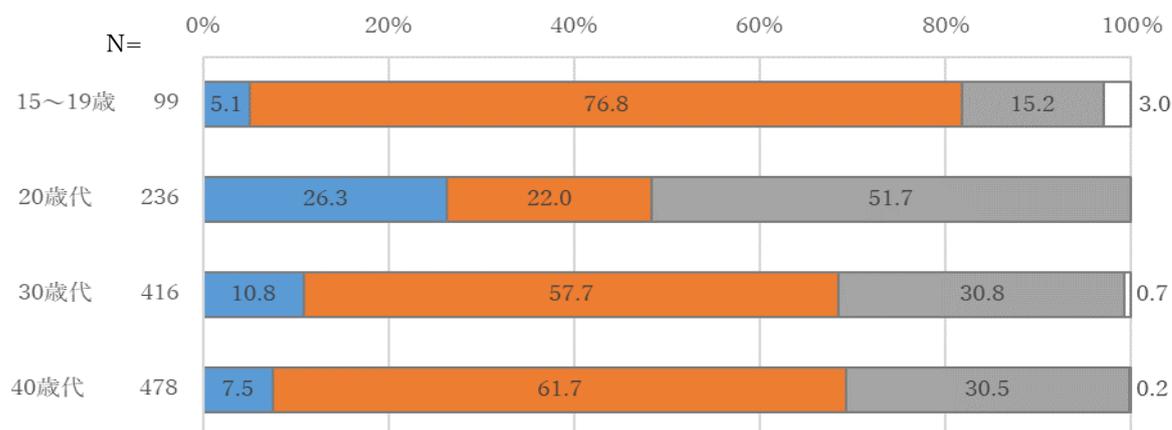
世帯構成

「18歳未満の子どもがいる世帯」の割合が54.1%と最も高く、次いで「18歳未満の子どもがいない世帯」の割合が33.4%、「ひとり暮らし」の割合が12.0%となっている。



【年齢別（10歳刻み）】

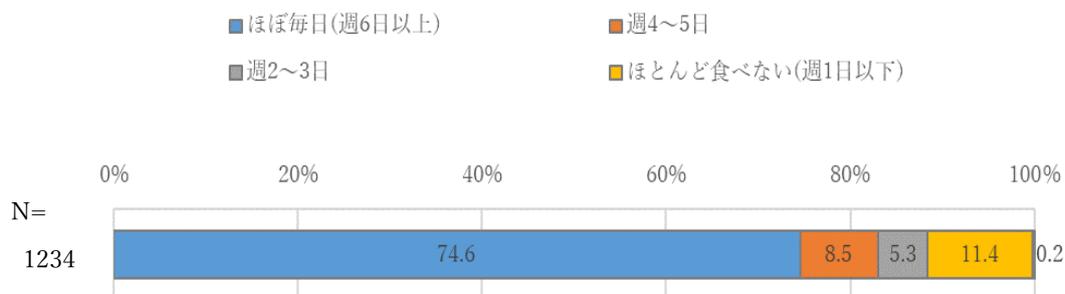
年齢別でみると、他に比べ、20歳代で「ひとり暮らし」の割合が26.3%と高くなっている。



2 食生活の状況や食育に関して

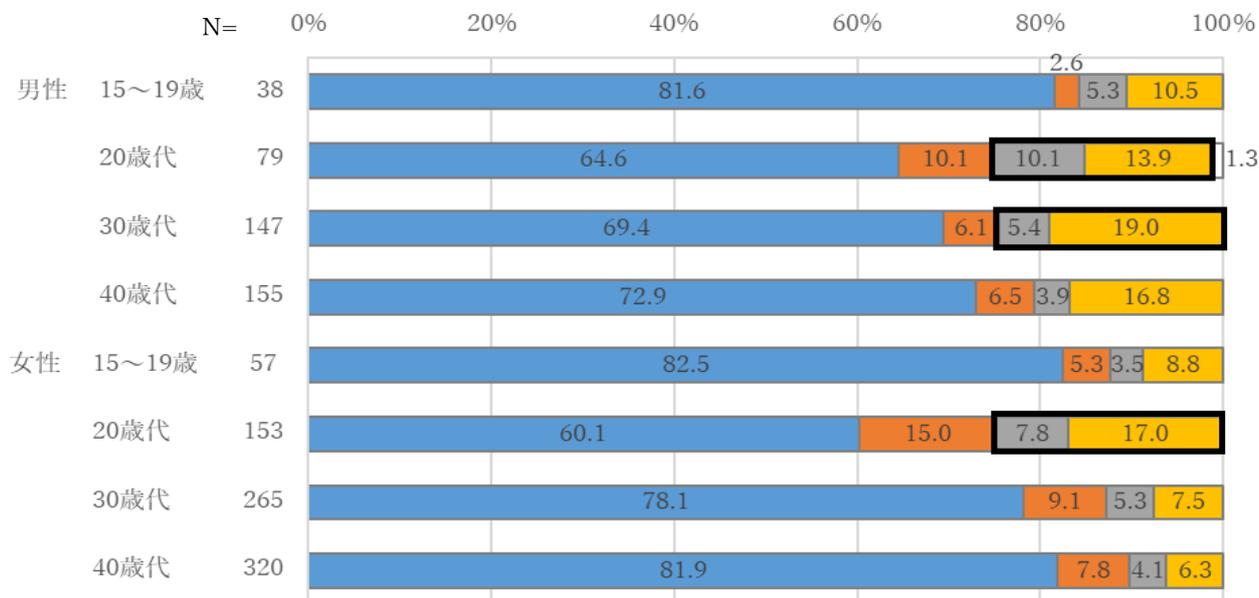
問1 あなたは、ふだん朝食を食べますか。(1つだけ選択)

「ほぼ毎日(週6日以上)」の割合が74.6%、「週4~5日」の割合が8.5%、「週2~3日」と「ほとんど食べない(週1日以下)」をあわせた“朝食を欠食している”割合が16.7%となっている。



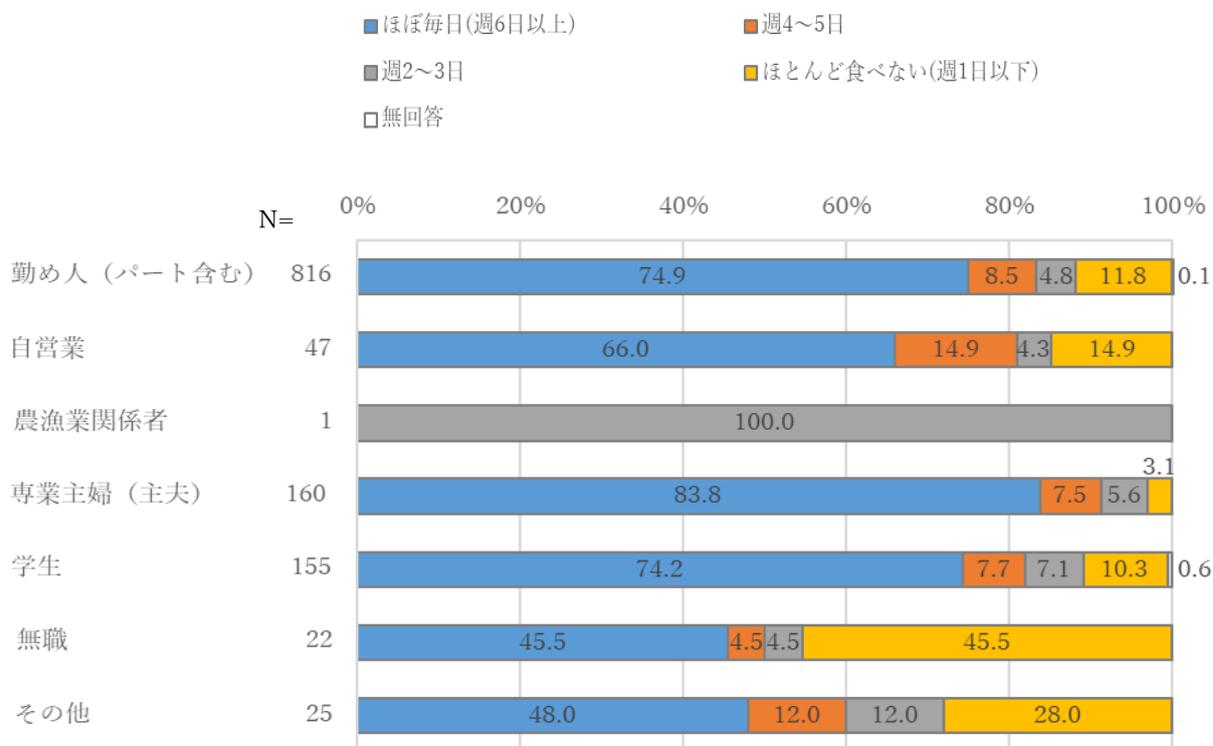
【性・年齢別 (10歳刻み)】

性・年齢別でみると、20歳代を除き、いずれの年代も、女性に比べ、男性で“朝食を欠食している”割合が高くなっている。男性の30歳代、女性の20歳代で“朝食を欠食している”割合が最も高くなっている。特に、男性の20歳代は24.0%、30歳代は24.4%、女性の20歳代は24.8%となっている。



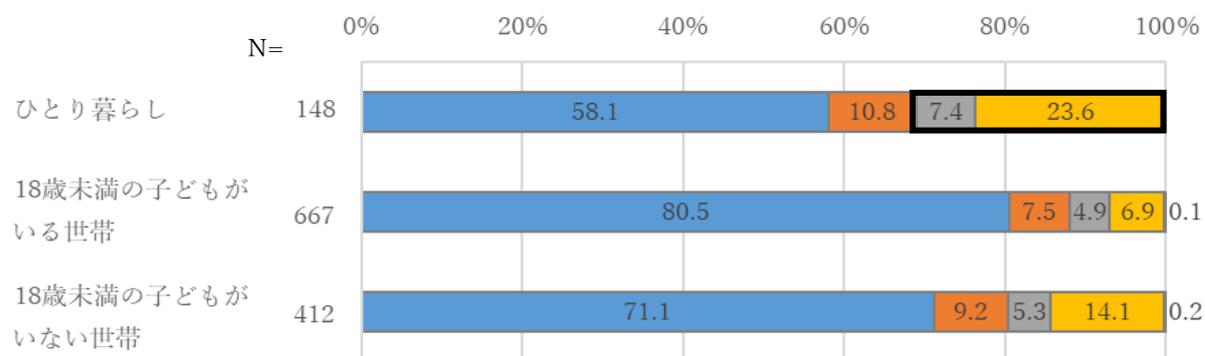
【職業別】

職業別でみると、他に比べ、無職で“朝食を欠食している”割合が高く、50.0%となっている。一方、専業主婦（主夫）で「ほぼ毎日（週6日以上）」の割合が高く、83.8%となっている。



【世帯構成別】

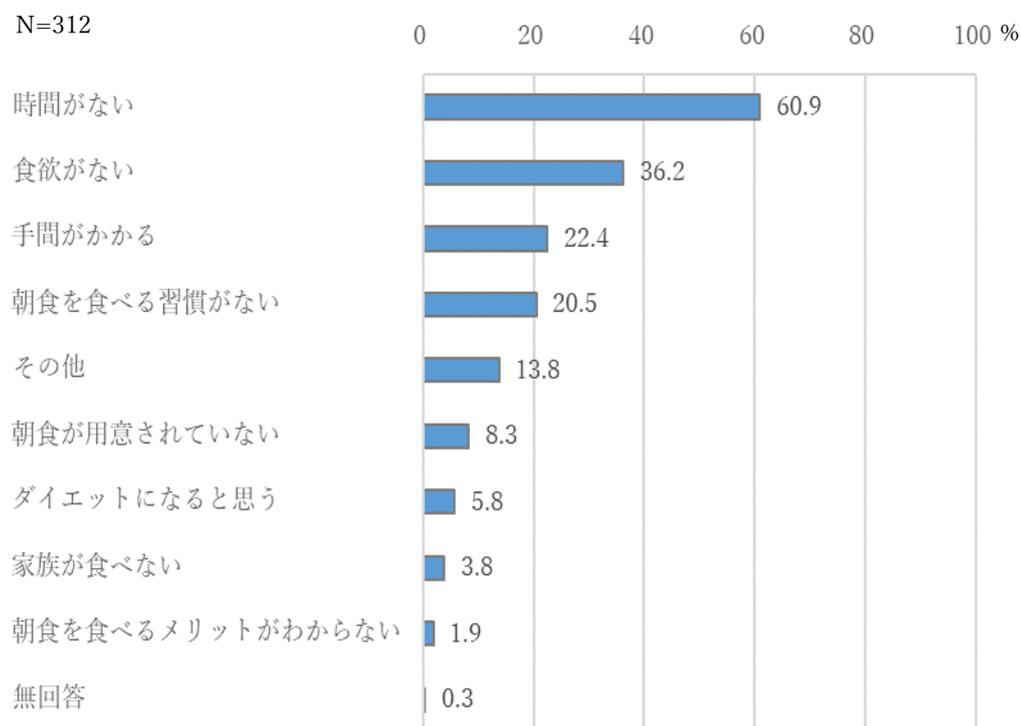
世帯構成別でみると、他に比べ、ひとり暮らしで“朝食を欠食している”割合が高く、31.0%となっている。



問1で「週4～5日」「週2～3日」「ほとんど食べない（週1日以下）」と答えた方にお聞きします。

問1-1 朝食を食べない理由は何ですか。（あてはまるものすべて選択）

「時間がない」の割合が60.9%と最も高く、次いで「食欲がない」の割合が36.2%、「手間がかかる」の割合が22.4%となっている。



【性・年齢別（10歳刻み）】

性・年齢別でみると、男女とも、どの年代も「時間がない」の割合が最も高くなっている。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	時間がない	食欲がない	手間がかかる	ない 朝食を食べる習慣が	その他	ない 朝食が用意されてい	思う ダイエットになると	家族が食べない	トがわからない	朝食を食べるメリッ	無回答
男性 15～19歳	7	71.4	28.6	14.3	14.3	14.3	-	14.3	-	-	-	-
20歳代	27	70.4	29.6	44.4	22.2	11.1	3.7	-	-	-	-	-
30歳代	45	68.9	26.7	26.7	24.4	15.6	11.1	4.4	2.2	4.4	-	-
40歳代	42	50.0	31.0	4.8	23.8	11.9	11.9	11.9	2.4	-	2.4	-
女性 15～19歳	10	70.0	40.0	20.0	20.0	10.0	20.0	-	20.0	-	-	-
20歳代	61	67.2	37.7	37.7	19.7	9.8	9.8	8.2	8.2	3.3	-	-
30歳代	58	62.1	43.1	15.5	15.5	15.5	10.3	3.4	3.4	-	-	-
40歳代	58	46.6	43.1	13.8	22.4	15.5	1.7	3.4	1.7	3.4	-	-

【職業別】

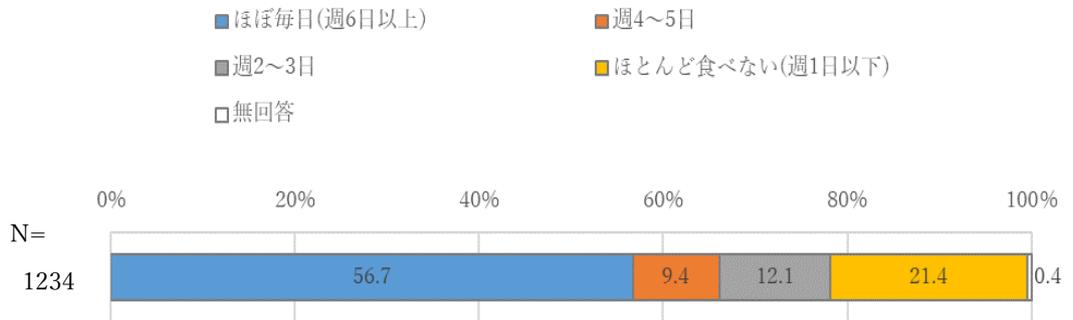
職業別でみると、他に比べ、無職で「食欲がない」の割合が高く、「手間がかかる」の割合が低くなっている。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	時間がない	食欲がない	手間がかかる	ない 朝食を食べる習慣が	その他	ない 朝食が用意されてい	思う ダイエットになると	家族が食べない	トがわからない	朝食を食べるメリッ	無回答
勤め人（パート含む）	204	65.2	40.7	24.0	21.1	10.3	9.8	4.9	2.9	1.5	-	-
自営業	16	37.5	18.8	18.8	25.0	25.0	6.3	0.0	6.3	18.8	6.3	-
農漁業関係者	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
専業主婦（主夫）	26	61.5	30.8	23.1	15.4	7.7	7.7	7.7	11.5	-	-	-
学生	39	66.7	30.8	23.1	15.4	15.4	7.7	7.7	5.1	-	-	-
無職	12	33.3	41.7	8.3	25.0	25.0	-	8.3	-	-	-	-
その他	13	38.5	15.4	15.4	30.8	46.2	-	7.7	-	-	-	-

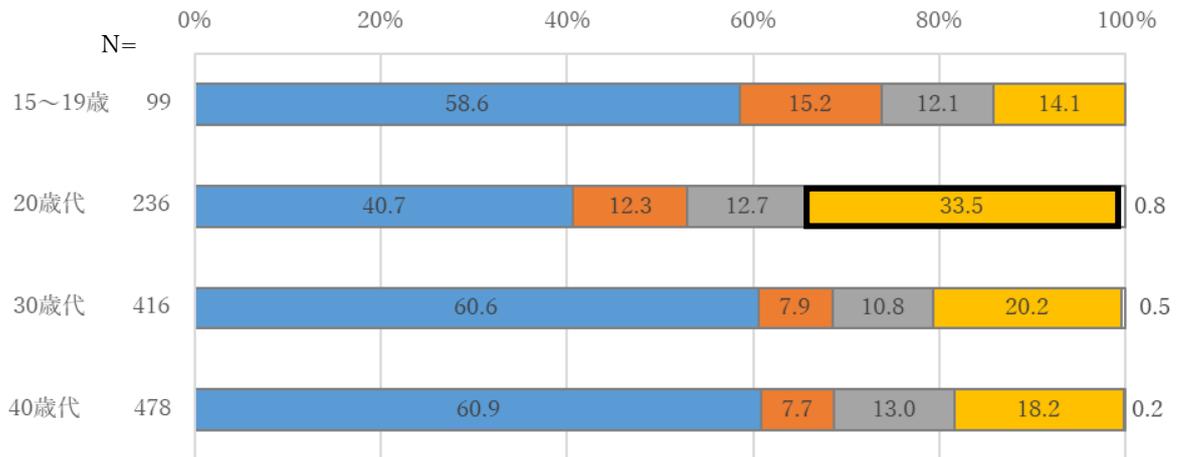
問2 あなたは、ふだん、誰かと一緒に食べていますか。(1つだけ選択)

「ほぼ毎日(週6日以上)」の割合が56.7%、「週4～5日」の割合が9.4%、「週2～3日」の割合が12.1%、「ほとんど食べない(週1日以下)」の割合が21.4%となっている。



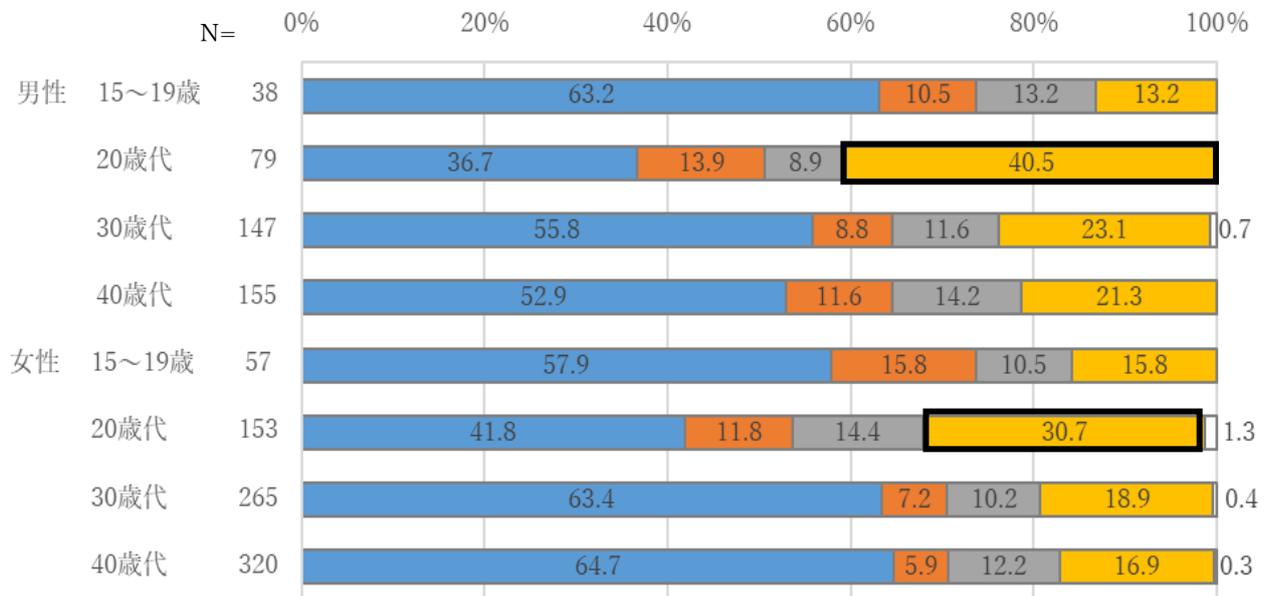
【年齢別(10歳刻み)】

年齢別で見ると、他に比べ、20歳代で「ほとんど食べない(週1日以下)」の割合が高く、33.5%となっている。



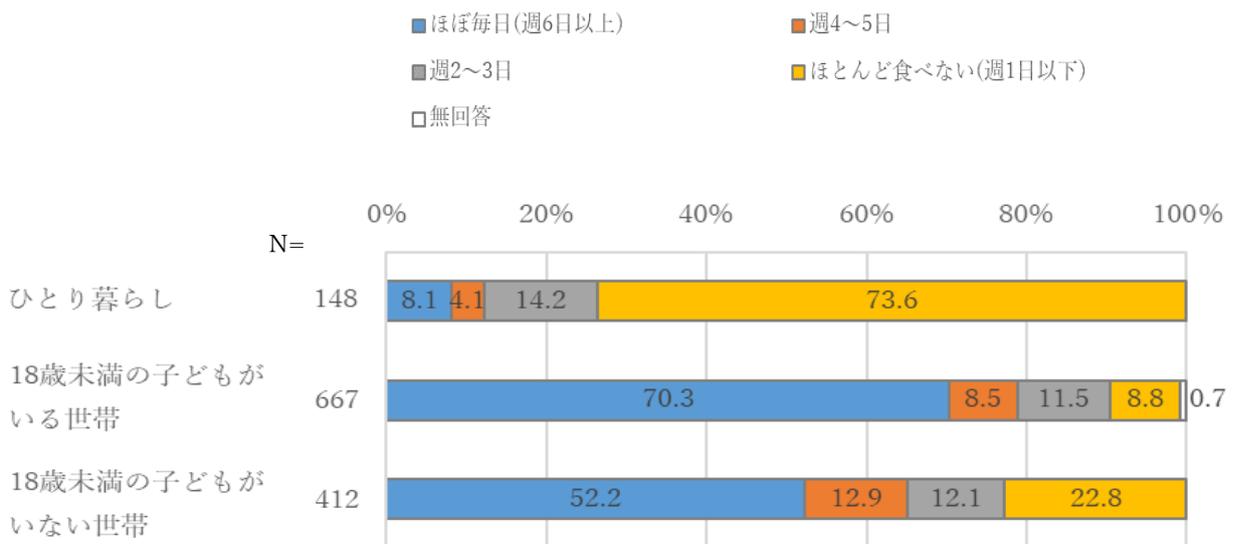
【性・年齢別（10歳刻み）】

性・年齢別で見ると、男女とも、20歳代で「ほとんど食べない（週1日以下）」の割合が高く、それぞれ40.5%、30.7%となっている。



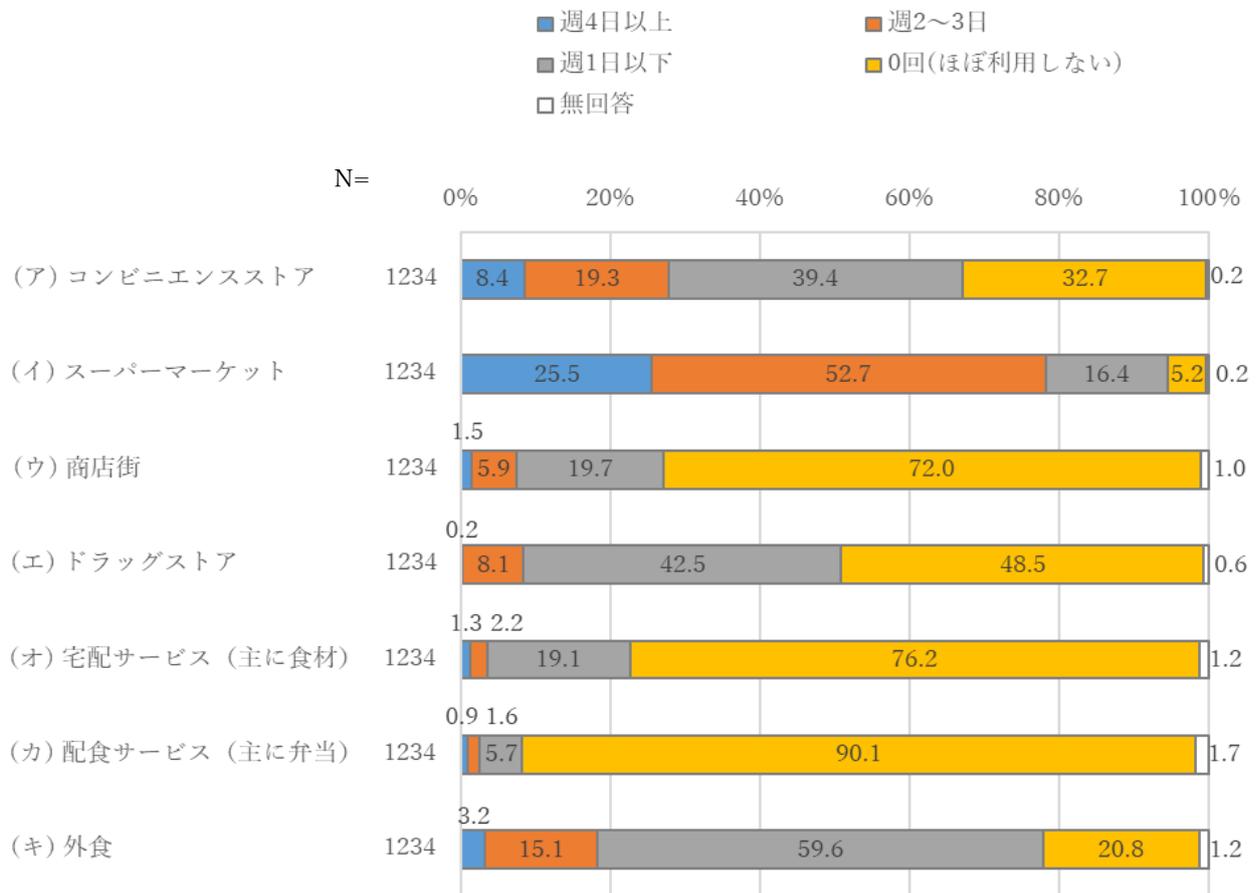
【世帯構成別】

世帯構成別で見ると、他に比べ、ひとり暮らしで「ほとんど食べない（週1日以下）」の割合が高く、73.6%となっている。



問3 あなたは、食品や食事の購入のために、次の(ア)～(キ)をどのくらい利用しますか。(それぞれ1つだけ選択)

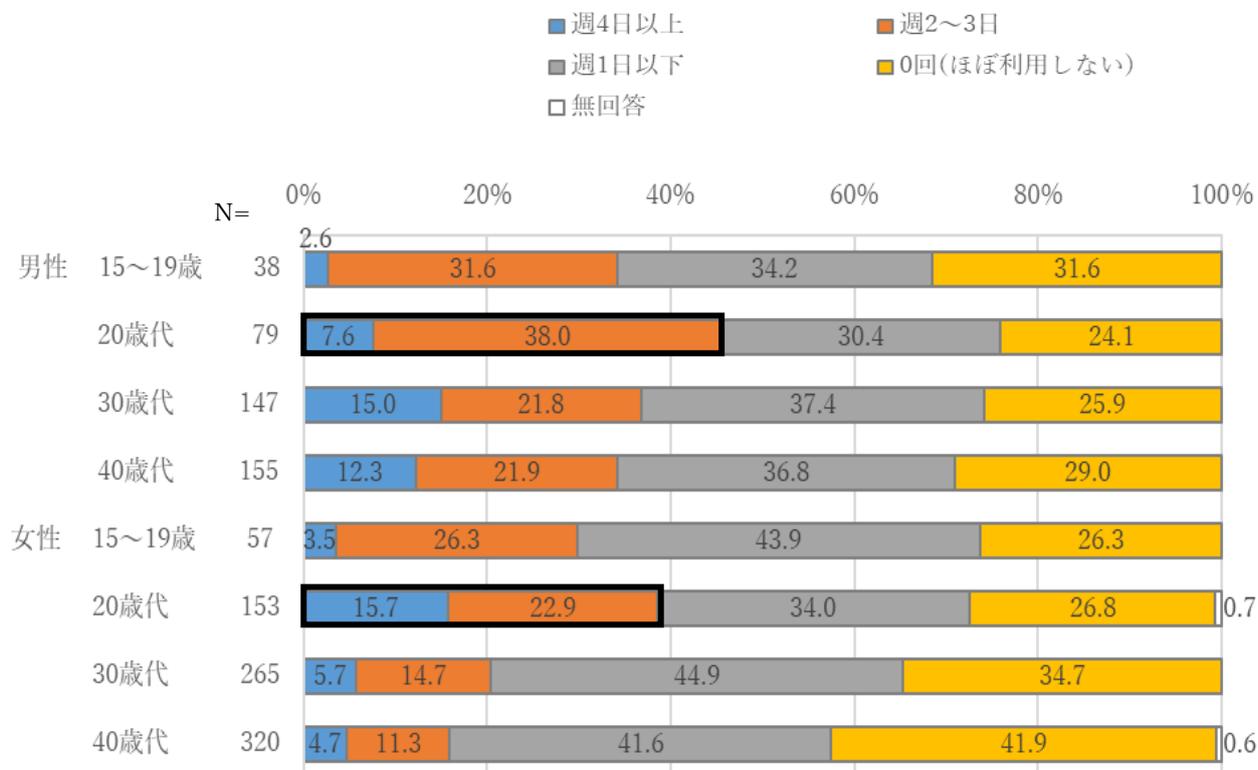
“スーパーマーケット”の「週4日以上」「週2～3日」の割合が最も高く、78.2%となっている。次いで“コンビニエンスストア”、“外食”の割合が高く、それぞれ27.7%、18.3%となっている。



(ア) コンビニエンスストア

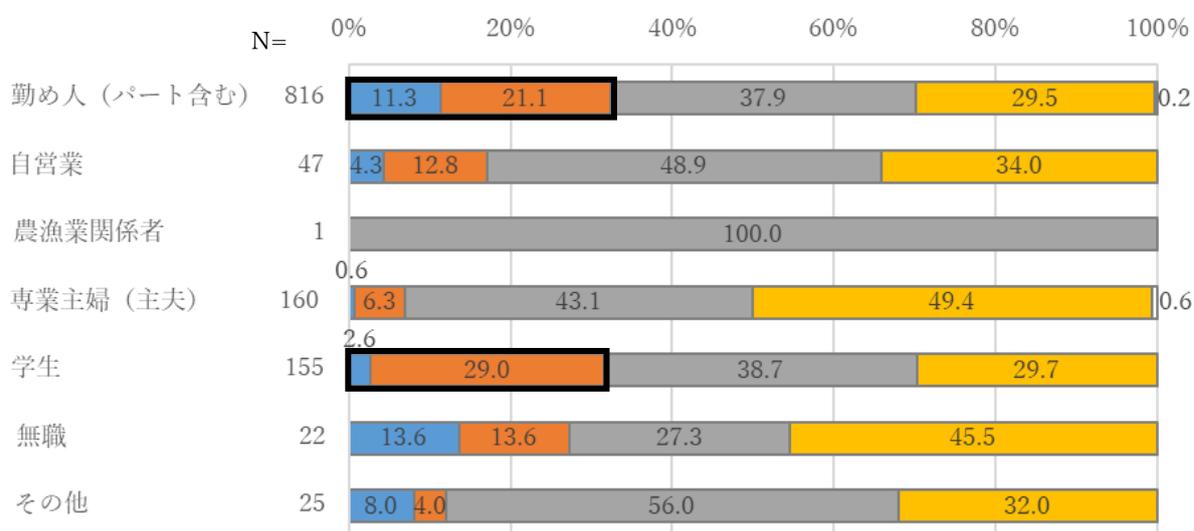
【性・年齢別（10歳刻み）】

性・年齢別でみると、男女とも、15～19歳を除き、年齢が低くなるにつれ「週4日以上」「週2～3日」の割合が高くなる傾向がみられる。特に、男性の20歳代で45.6%、女性の20歳代で38.6%となっている。



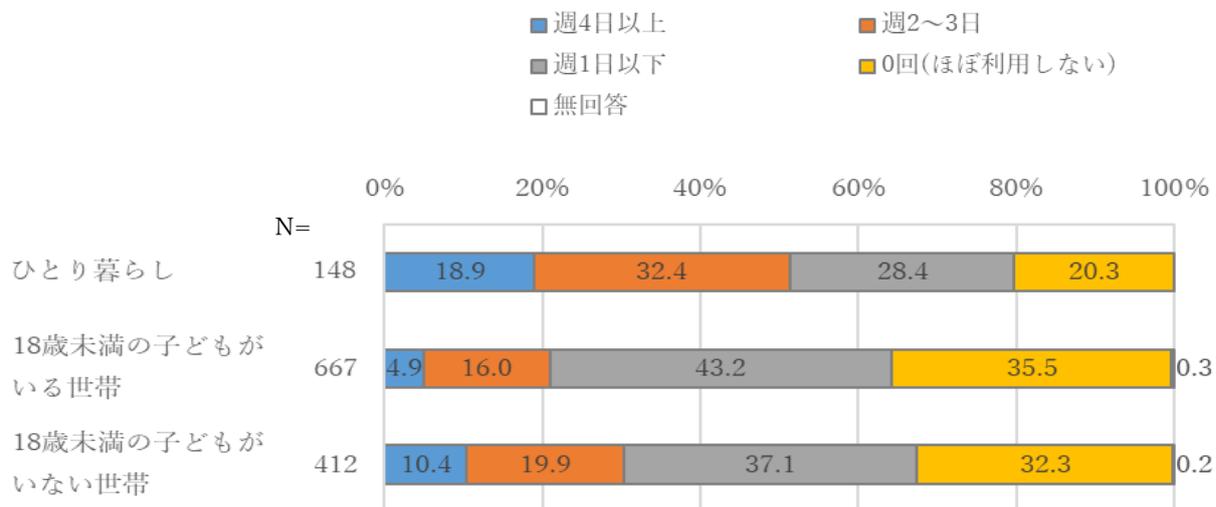
【職業別】

職業別でみると、他に比べ、勤め人（パート含む）と学生で「週4日以上」「週2～3日」の割合が高く、それぞれ32.4%、31.6%となっている。一方、専業主婦（主夫）で「週4日以上」「週2～3日」の割合が低く、6.9%となっている。



【世帯構成別】

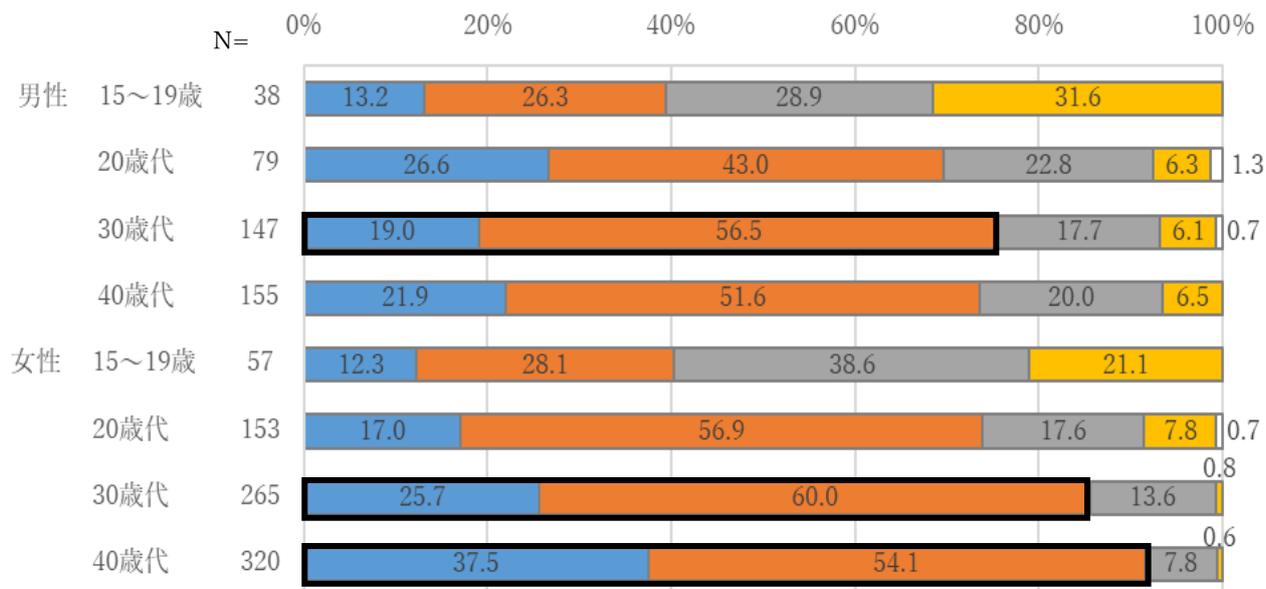
世帯構成別でみると、他に比べ、ひとり暮らしで「週4日以上」「週2～3日」の割合が高く、51.3%となっている。



(イ) スーパーマーケット

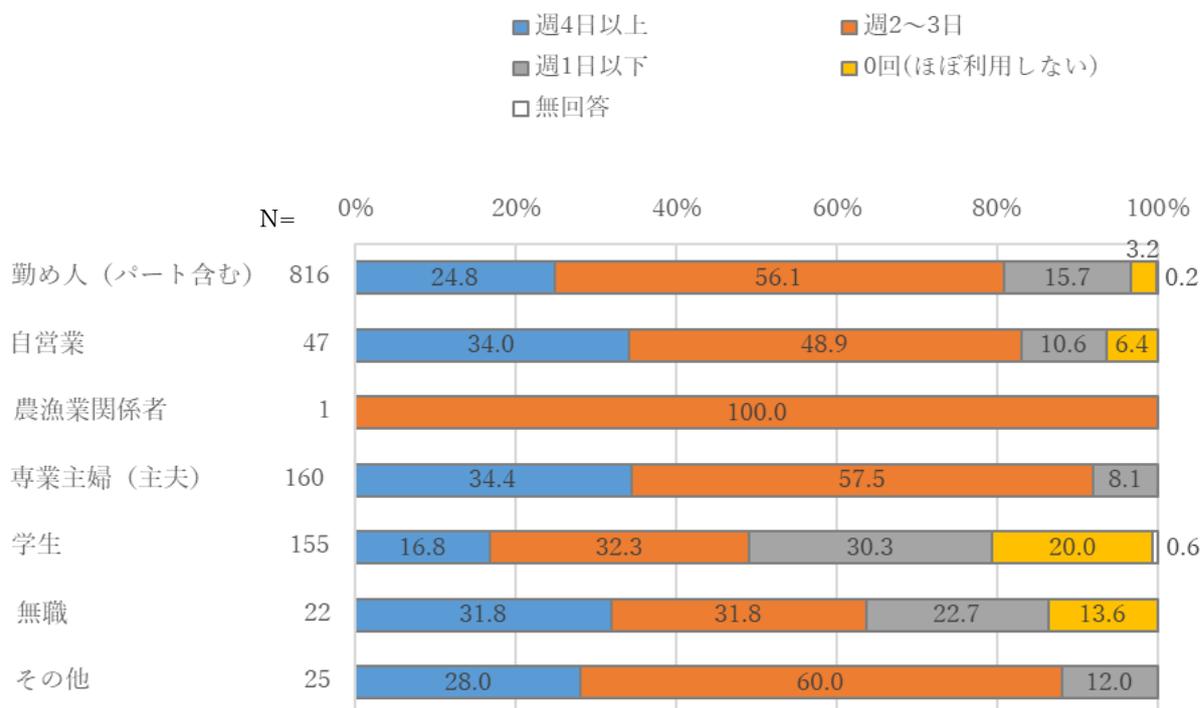
【性・年齢別 (10歳刻み)】

性・年齢別でみると、他に比べ、男性の30歳代、女性の30歳代、60歳代で「週4日以上」「週2～3日」の割合が高く、特に、男性の30歳代で75.5%、女性の30歳代で85.7%、40歳代で91.6%となっている。



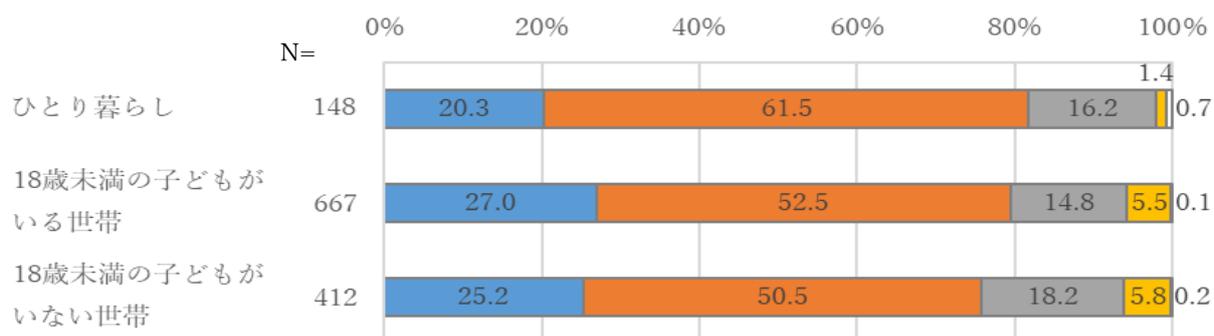
【職業別】

職業別にみると、他に比べ、専業主婦（主夫）で「週4日以上」「週2～3日」の割合が高く、91.9%となっている。



【世帯構成別】

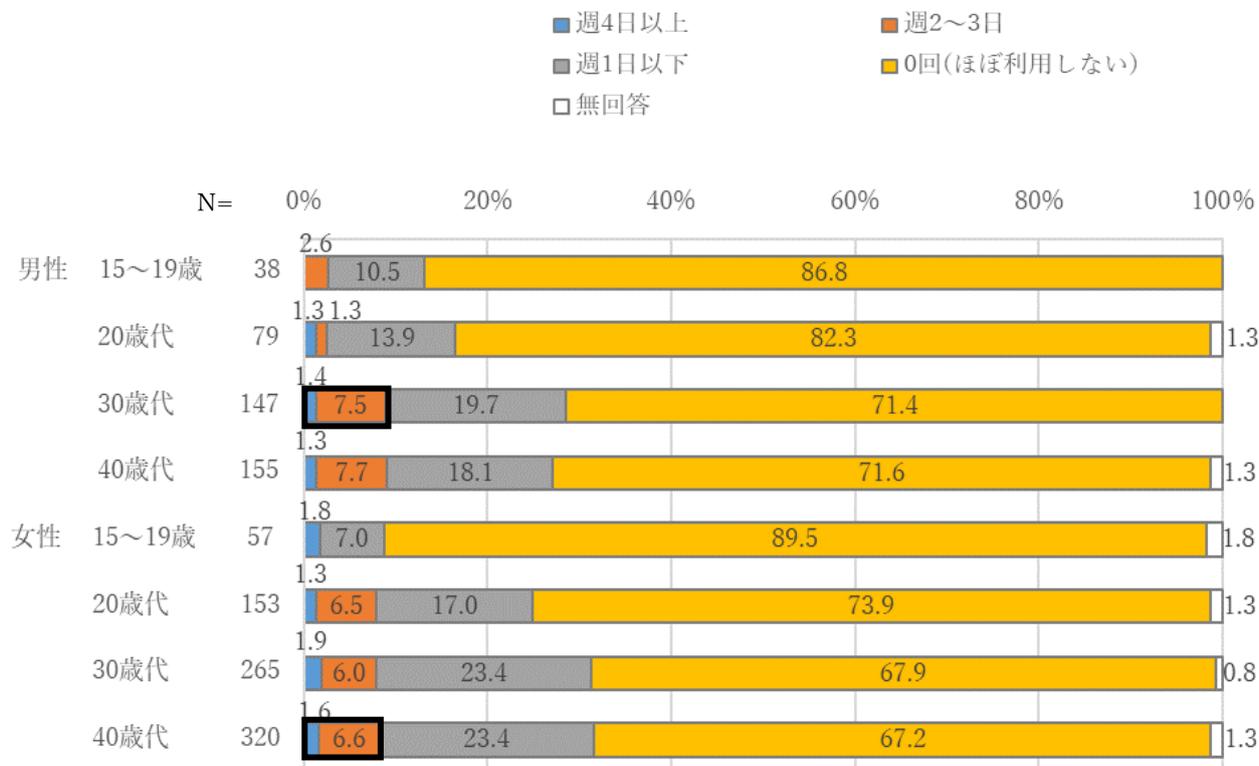
世帯構成別でみると、大きな差異はみられない。



(ウ) 商店街

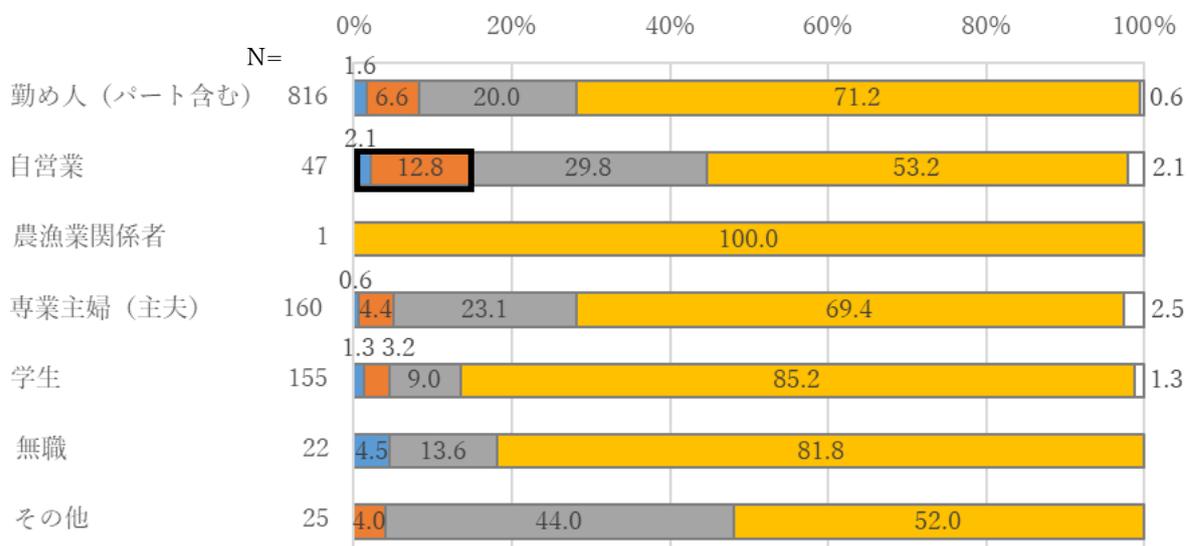
【性・年齢別（10歳刻み）】

性・年齢別で見ると、他に比べ、男性の30歳代、女性の40歳代で「週4日以上」「週2～3日」の割合が高く、それぞれ8.9%、8.2%となっている。



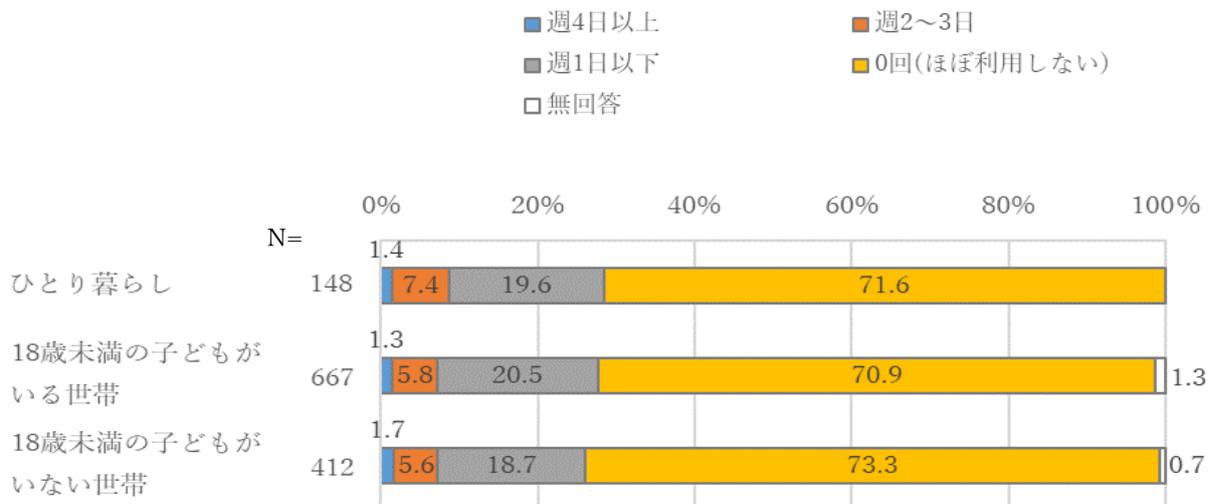
【職業別】

職業別にみると、他に比べ、自営業で「週4日以上」「週2～3日」の割合が高く、14.9%となっている。



【世帯構成別】

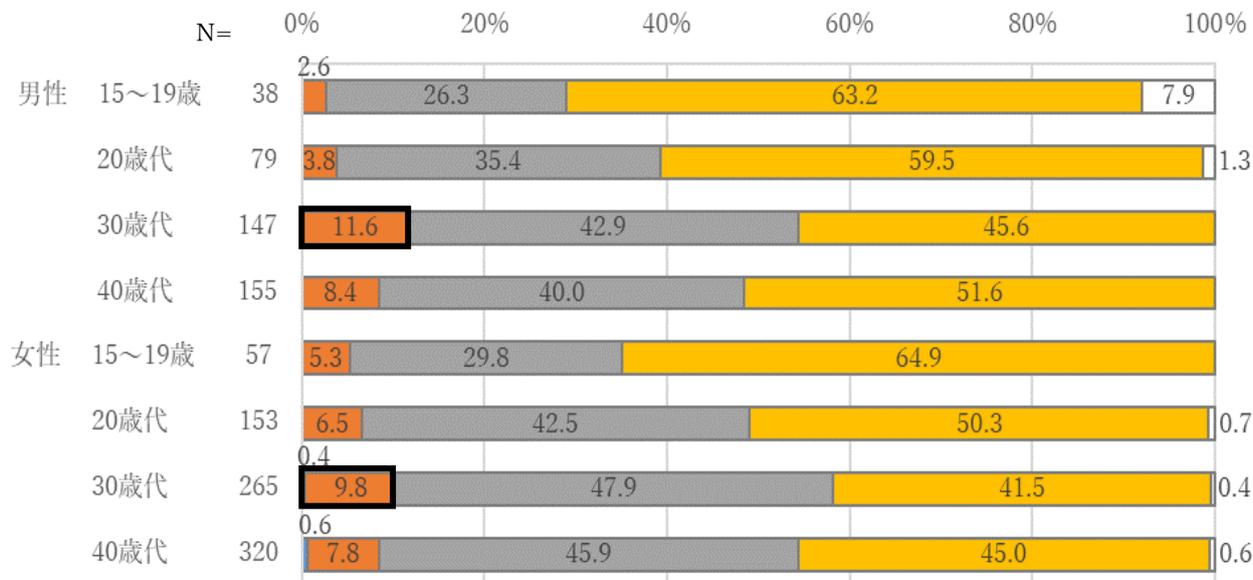
世帯構成別でみると、大きな差異はみられない。



(エ) ドラッグストア

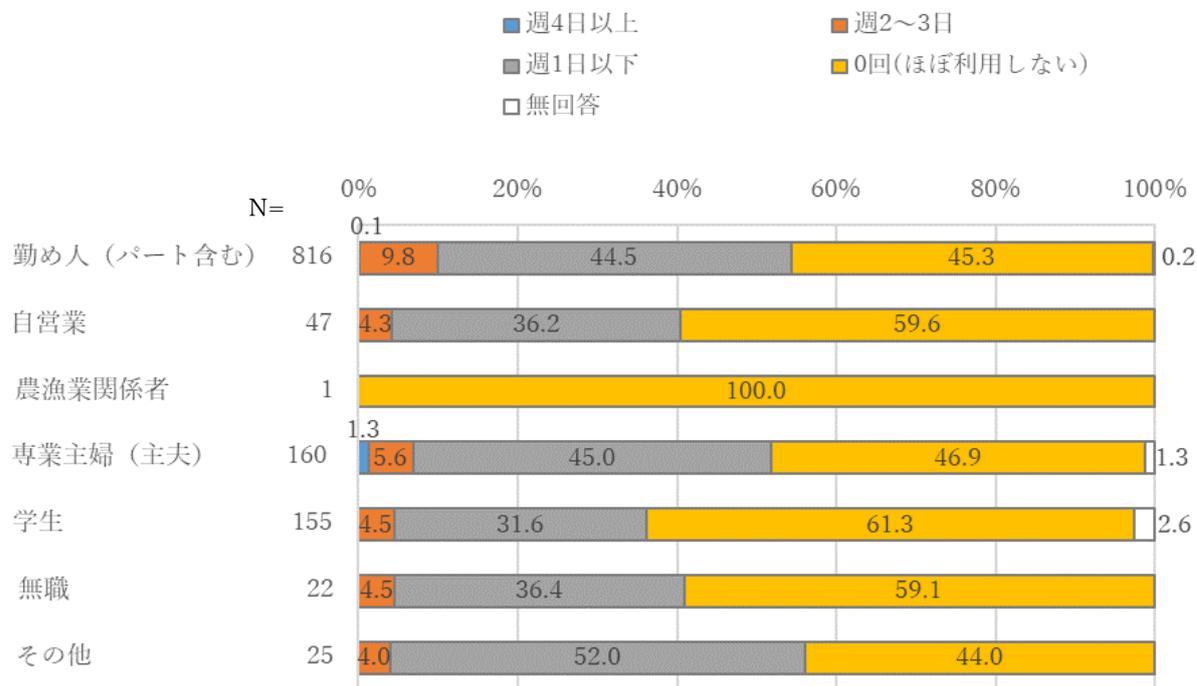
【性・年齢別 (10歳刻み)】

性・年齢別でみると、男女とも、30歳代で「週4日以上」「週2~3日」の割合が高く、それぞれ11.6%、10.2%となっている。



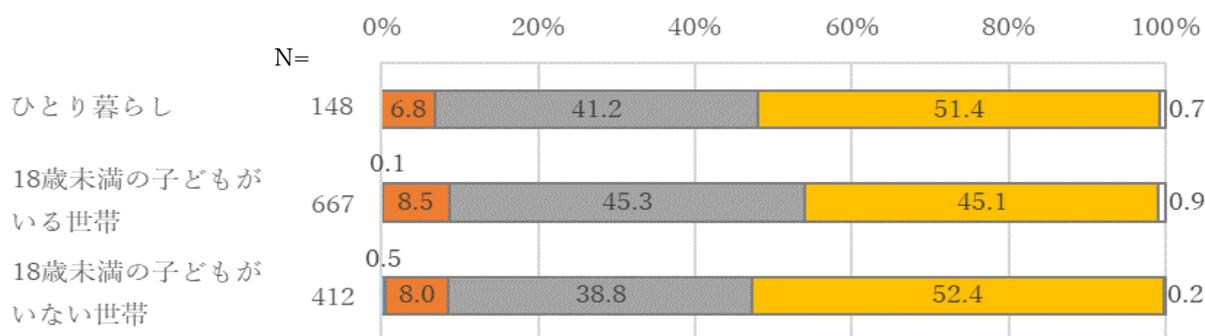
【職業別】

職業別で見ると、他に比べ、勤め人（パート含む）で「週4日以上」「週2～3日」の割合がやや高く、9.9%となっている。



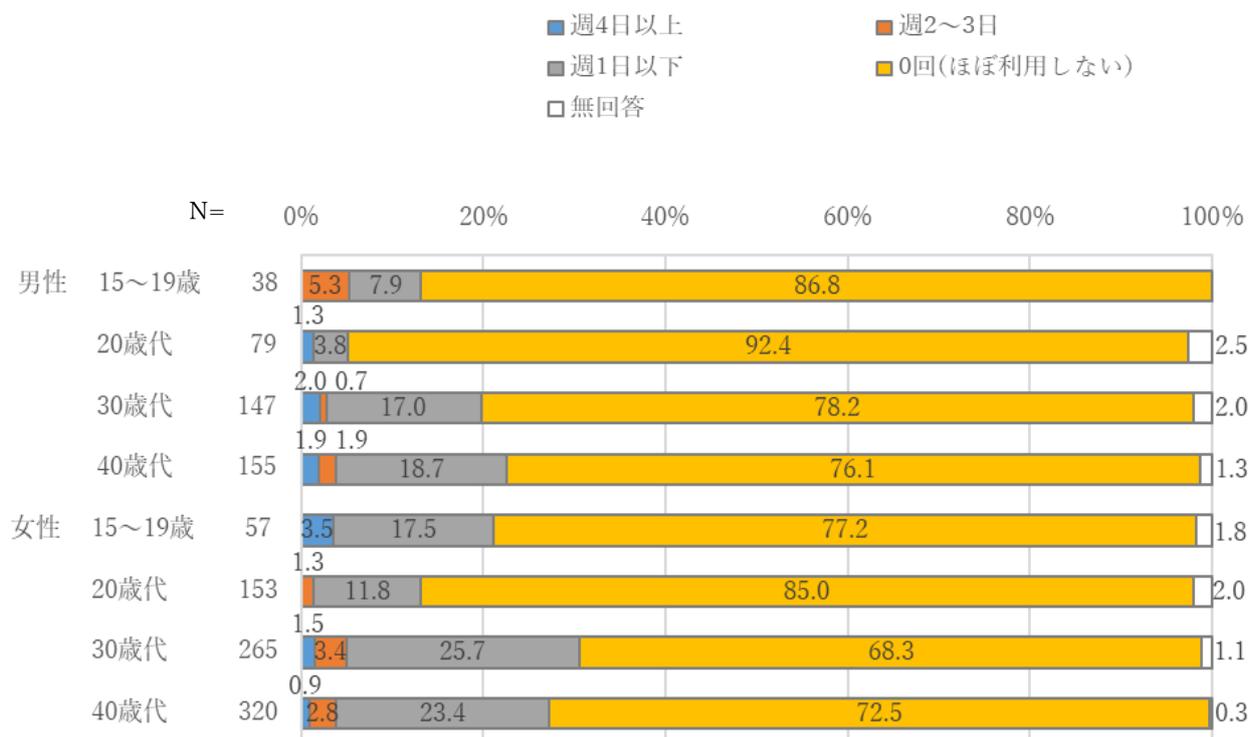
【世帯構成別】

世帯構成別で見ると、大きな差異はみられない。

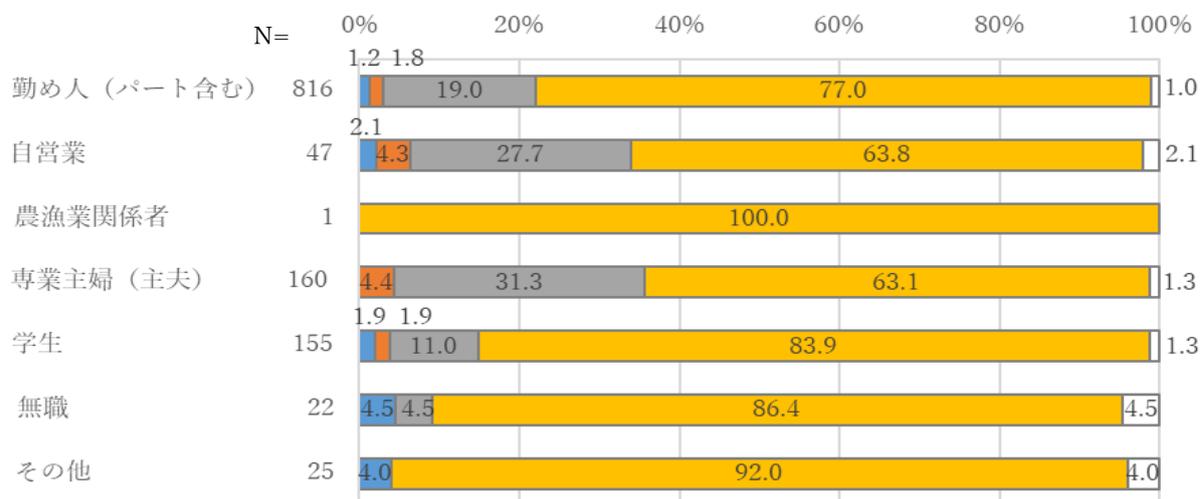


(オ) 宅配サービス (主に食材)

【性・年齢別 (10 歳刻み)】

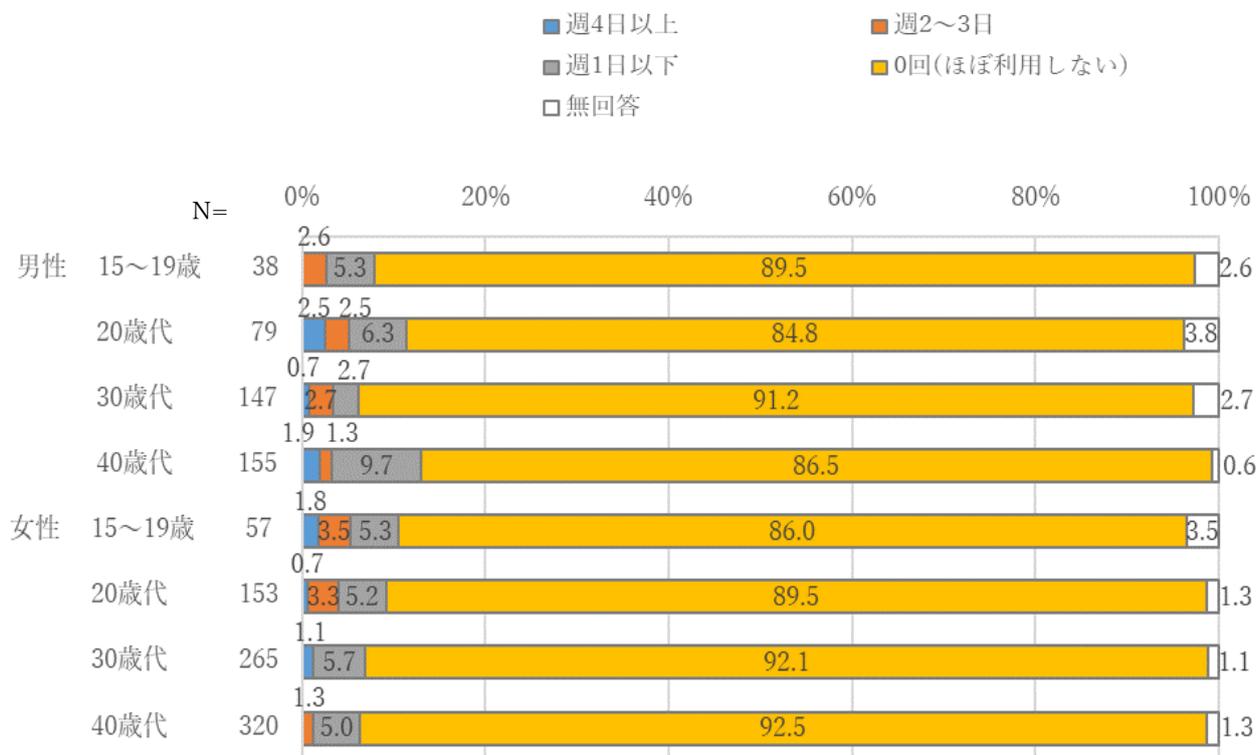


【職業別】

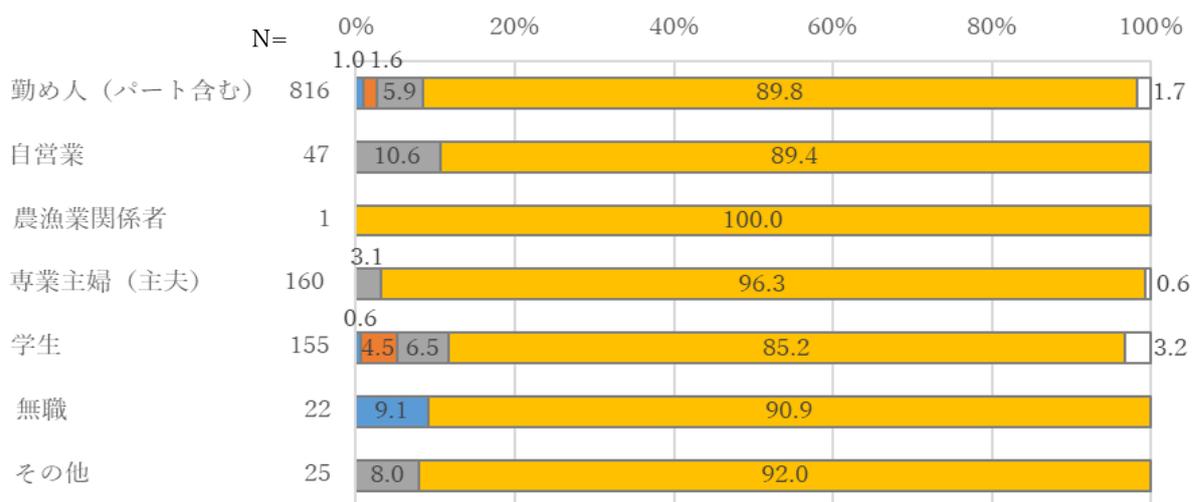


(カ) 配食サービス (主に弁当)

【性・年齢別 (10 歳刻み)】



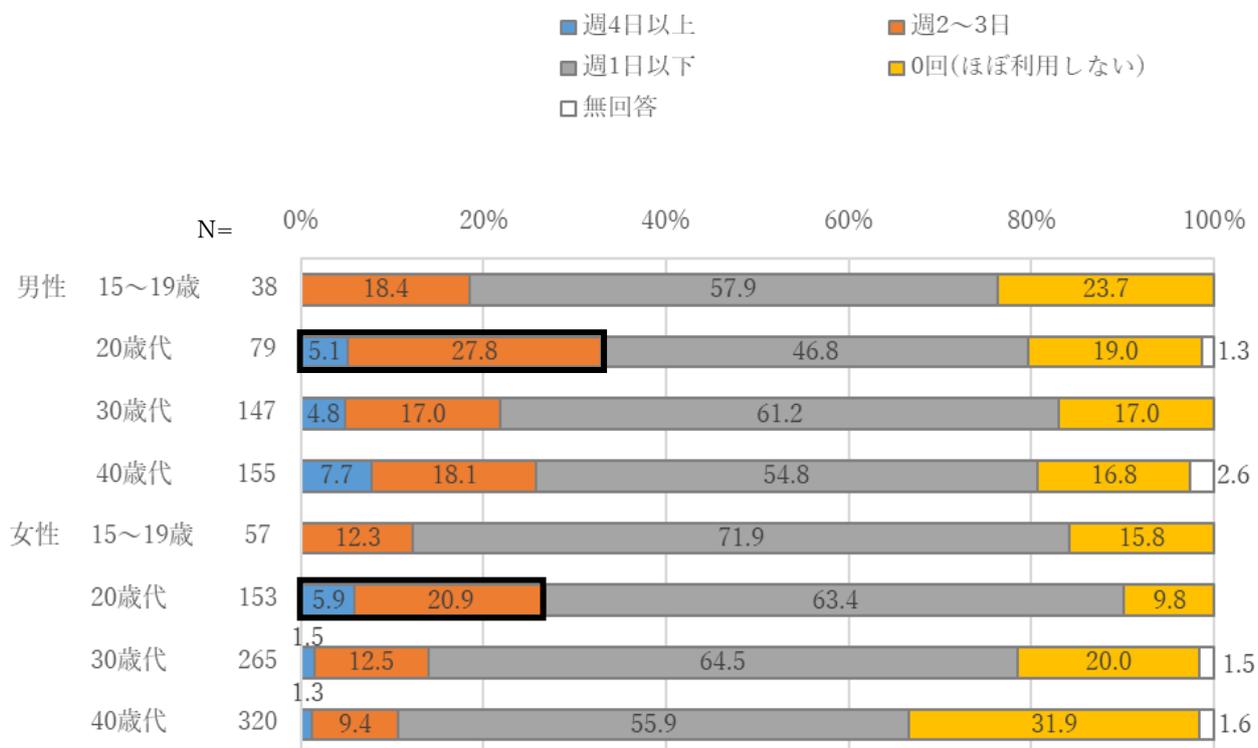
【職業別】



(キ) 外食

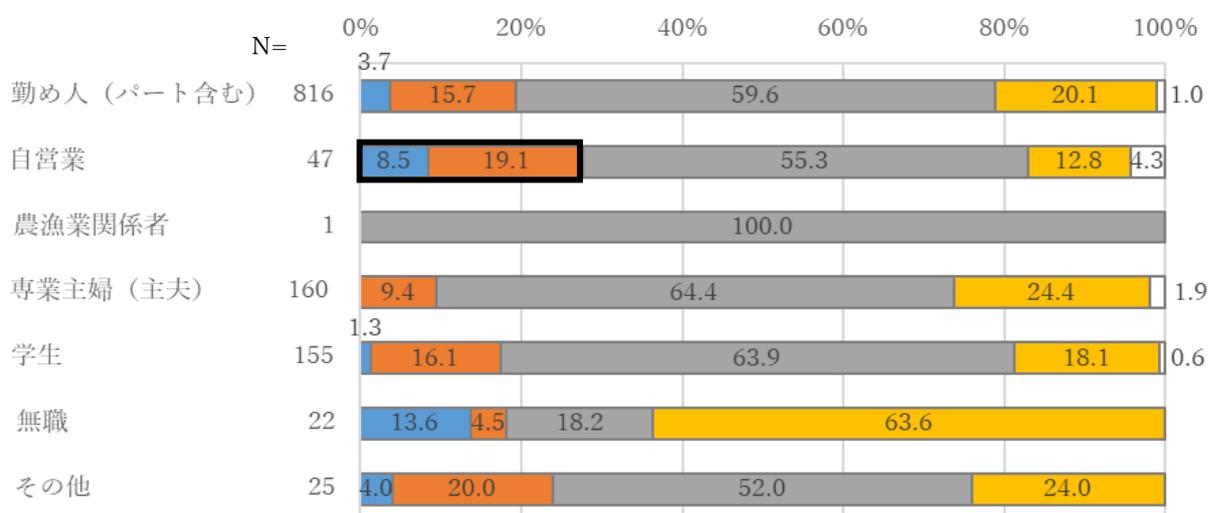
【性・年齢別（10歳刻み）】

性・年齢別でみると、男女とも、20歳代で「週4日以上」「週2～3日」の割合が高く、それぞれ32.9%、女性の20歳代で26.8%となっている。



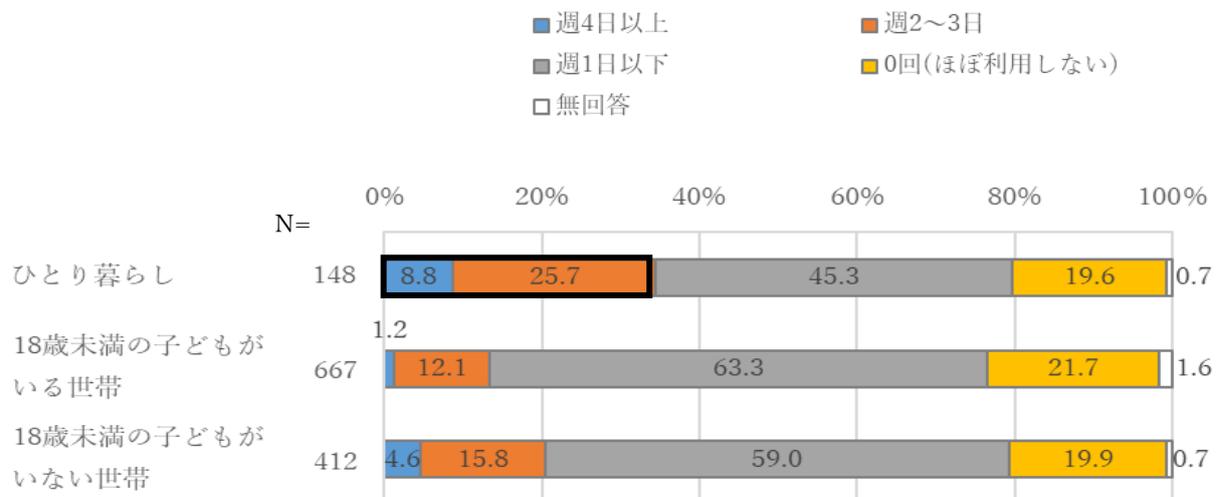
【職業別】

職業別でみると、他に比べ、自営業で「週4日以上」「週2～3日」の割合が高く、27.6%となっている。



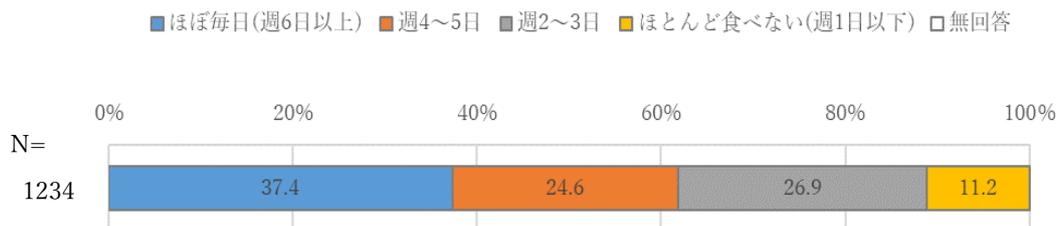
【世帯構成別】

世帯構成別でみると、他に比べ、ひとり暮らしで「週4日以上」「週2～3日」の割合が高く、34.5%となっている。



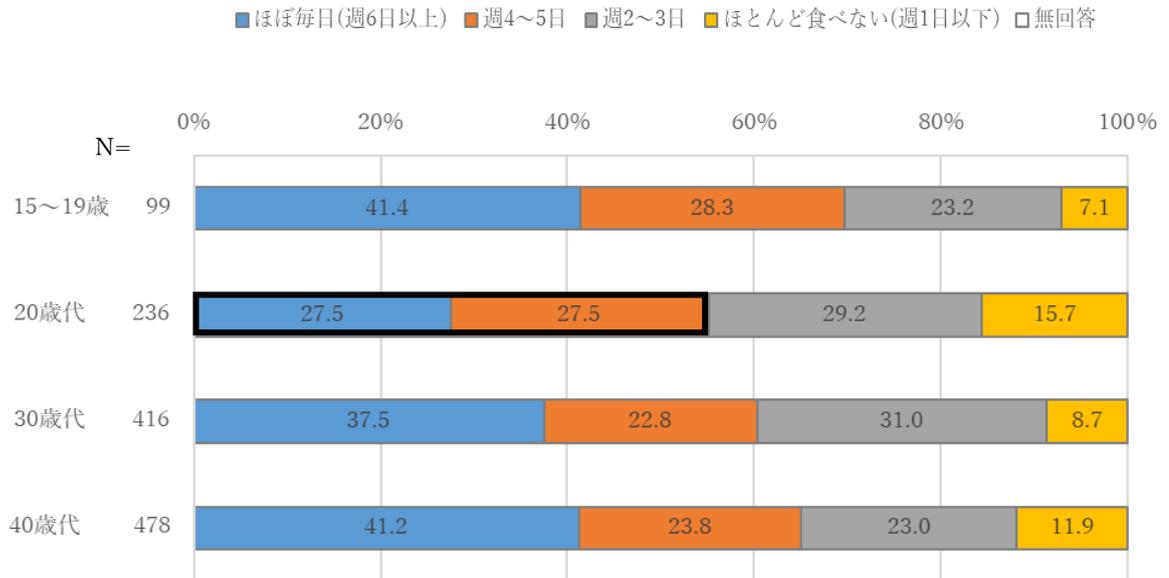
問4 あなたは、主食、主菜、副菜の3つを組み合わせる食べることが1日に2回以上あるのは、週に何日ありますか。(1つだけ選択)

「ほぼ毎日(週6日以上)」と「週4～5日」をあわせた“主食・主菜・副菜がそろっている”割合が62.0%、「週2～3日」と「ほとんど食べない(週1日以下)」をあわせた“主食・主菜・副菜がそろっていない”割合が38.1%となっている。



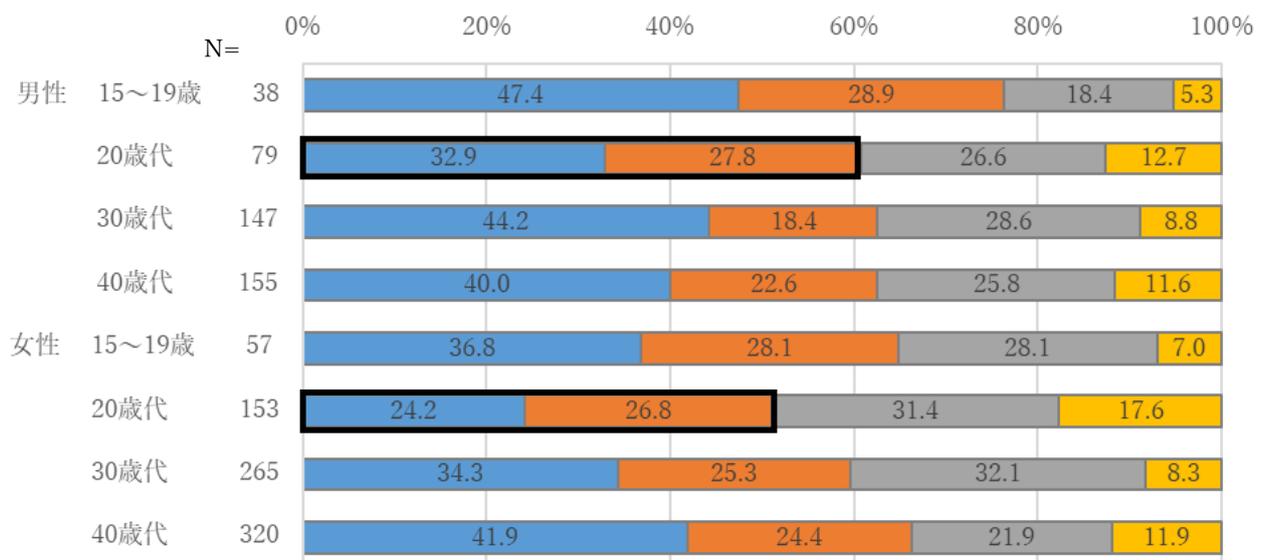
【年齢別（10歳刻み）】

年齢別で見ると、他に比べ、20歳代で“主食・主菜・副菜がそろっている”割合が低く、55.0%となっている。



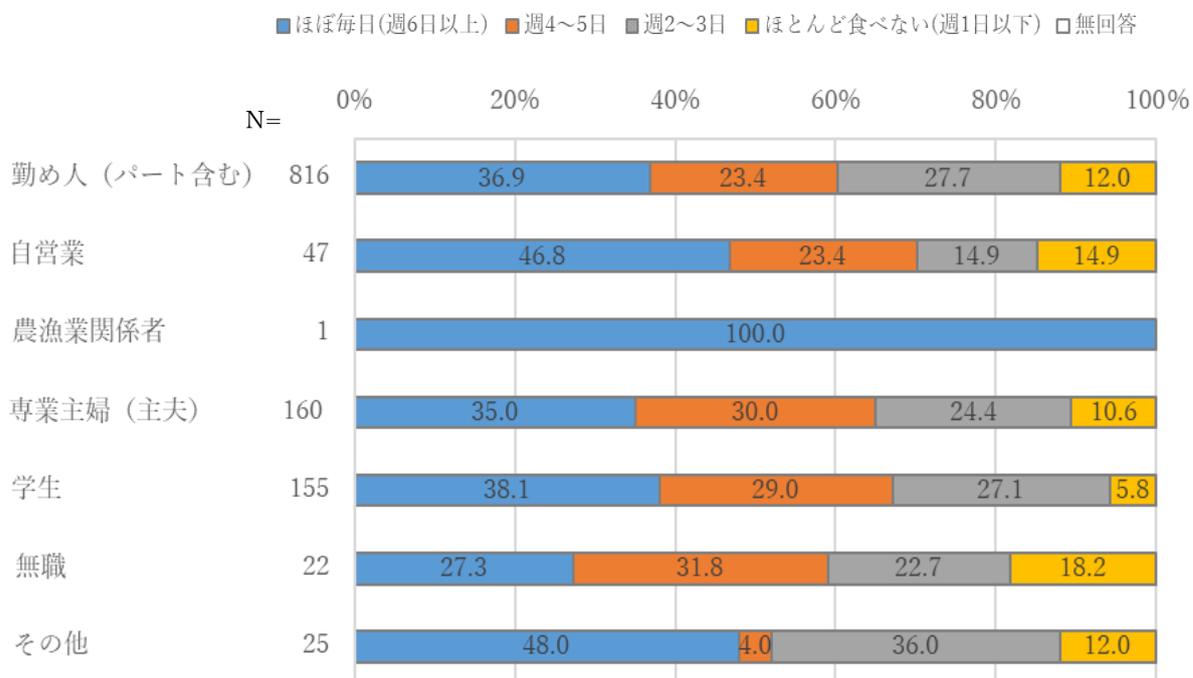
【性・年齢別（10歳刻み）】

性・年齢別で見ると、男女とも、20歳代で“主食・主菜・副菜がそろっている”割合が低く、それぞれ60.7%、51.0%となっている。



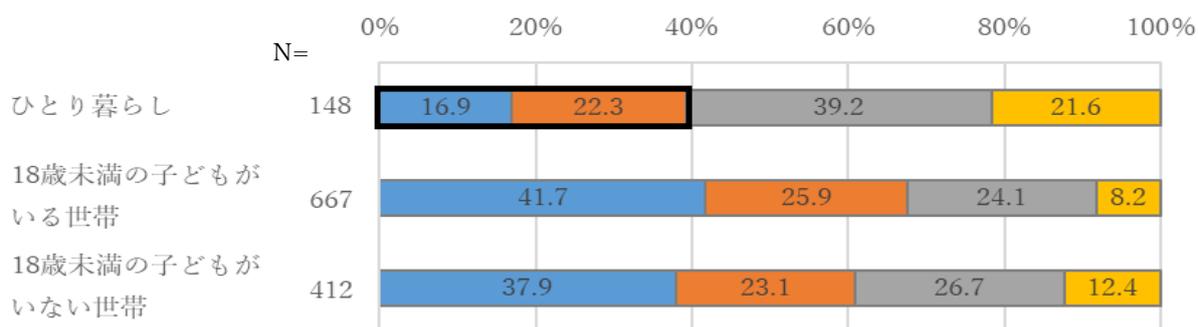
【職業別】

職業別で見ると、他に比べ、自営業で“主食・主菜・副菜がそろっている”割合が高く、70.2%となっている。



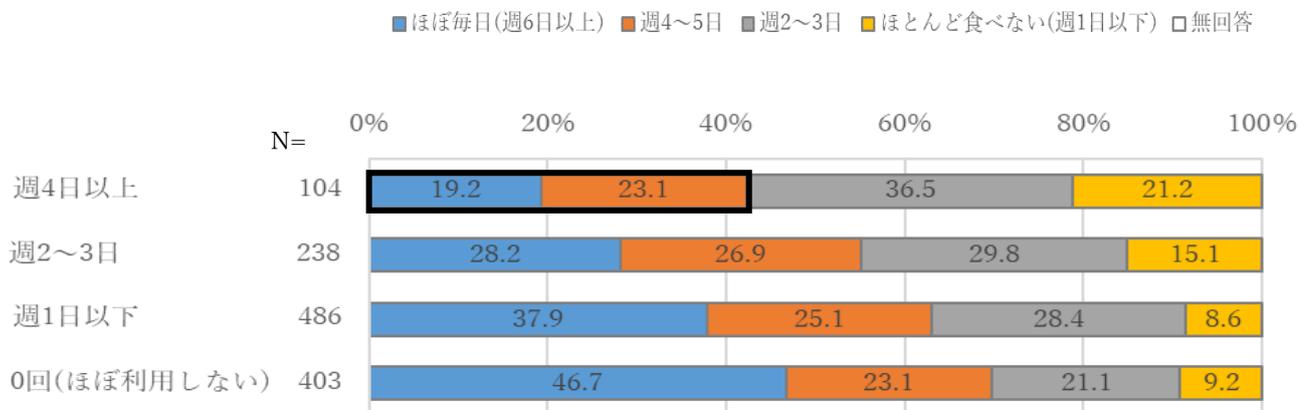
【世帯構成別】

世帯構成別で見ると、他に比べ、ひとり暮らしで“主食・主菜・副菜がそろっている”割合が低く、39.2%となっている。



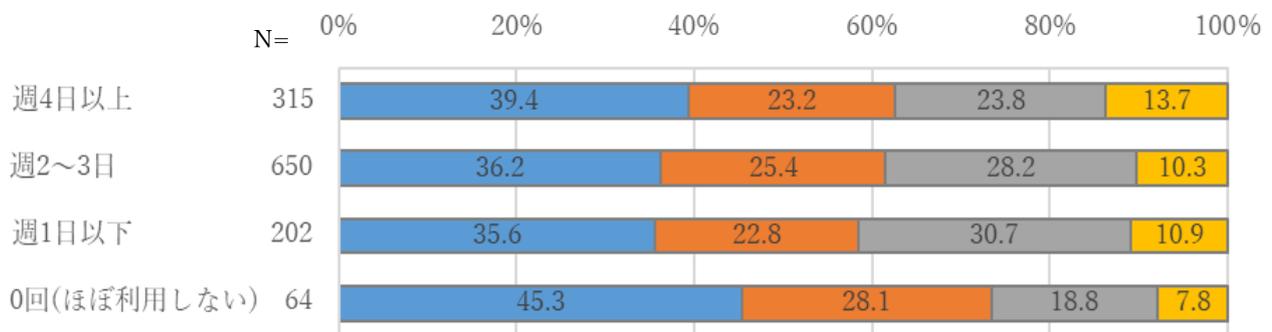
【コンビニエンスストアの利用頻度別】

コンビニエンスストアの利用頻度別でみると、利用頻度が高いほど“主食・主菜・副菜がそろっている”割合が低く、週4日以上で48.3%となっている。



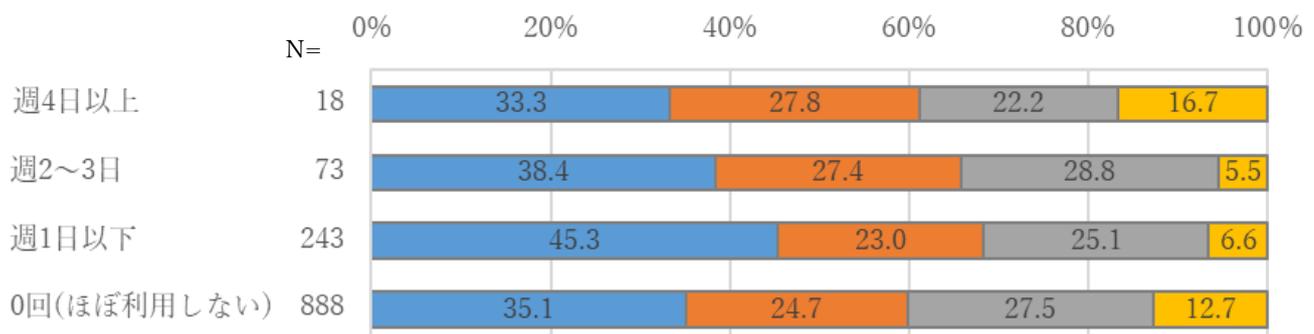
【スーパーマーケットの利用頻度別】

スーパーマーケットの利用頻度別でみると、0回（ほぼ利用しない）で“主食・主菜・副菜がそろっている”割合が高くなっている。



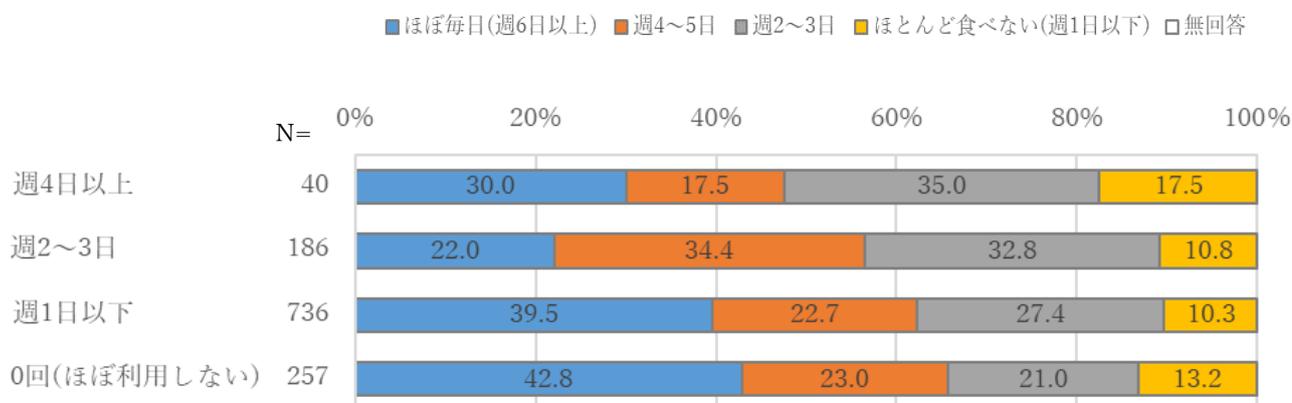
【商店街の利用頻度別】

商店街の利用頻度別でみると、0回（ほぼ利用しない）で“主食・主菜・副菜がそろっている”割合が低くなっている。



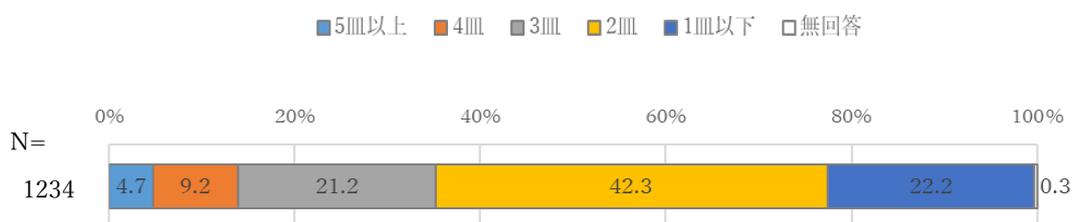
【外食の利用頻度別】

外食の利用頻度別でみると、利用頻度が低くなるにつれて“主食・主菜・副菜がそろっている”割合が高くなっている。



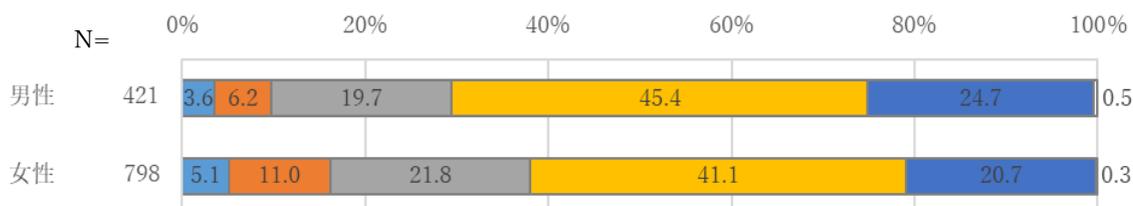
問5 あなたは、ふだん野菜料理を1日に何皿程度食べていますか。(1つだけ選択)

「2皿」の割合が42.3%と最も高く、次いで「1皿以下」の割合が22.2%、「3皿」が21.2%となっている。



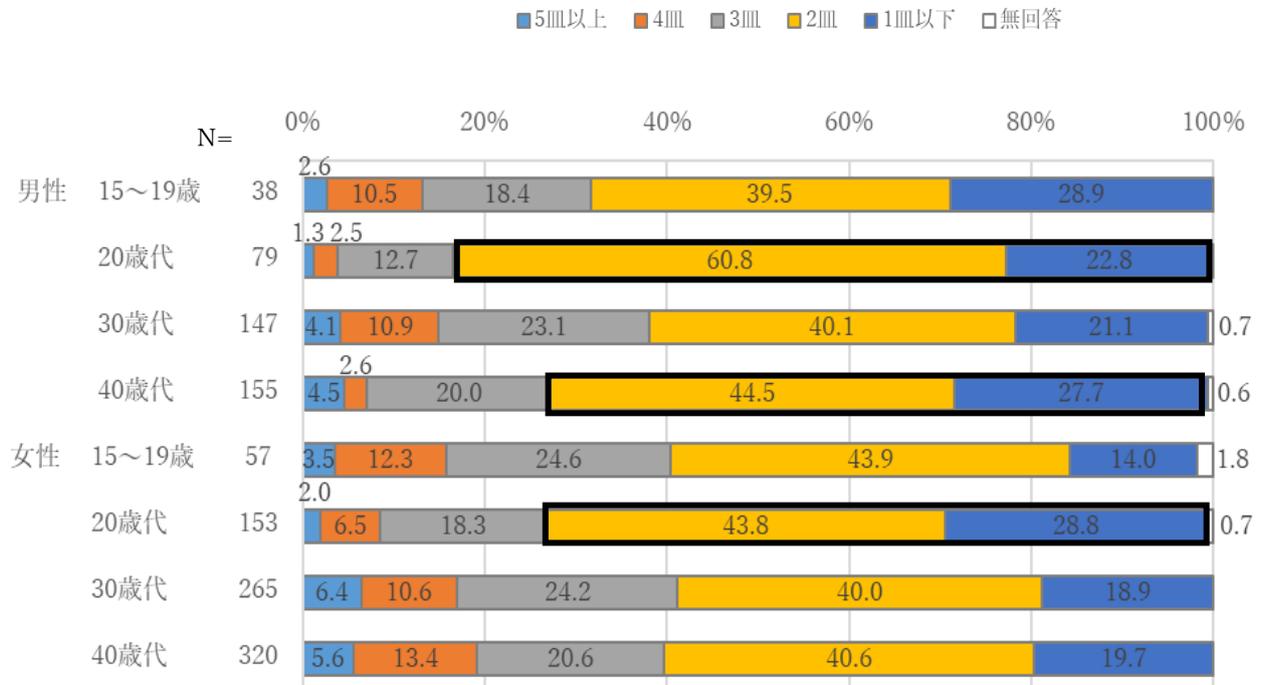
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「2皿」「1皿以下」の割合が高く、70.1%となっている。



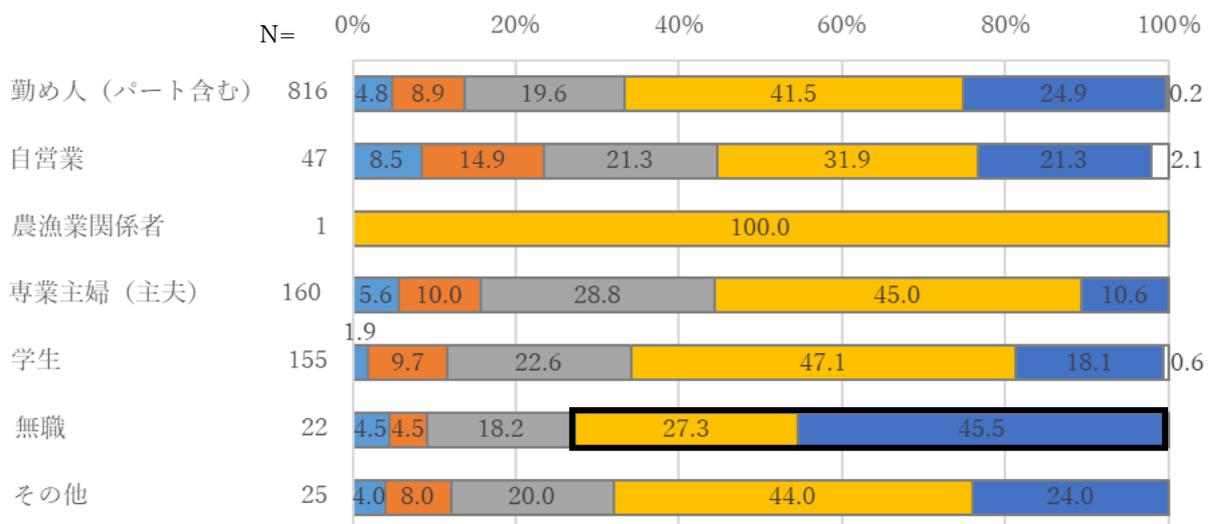
【性・年齢別（10歳刻み）】

性・年齢別で見ると、30歳代を除き、女性に比べ、男性で「2皿」「1皿以下」の割合が高くなっている。また、他に比べ、男性の20歳代、40歳代、女性の20歳代で「2皿」「1皿以下」の割合が高く、それぞれ83.6%、72.2%、72.6%となっている。



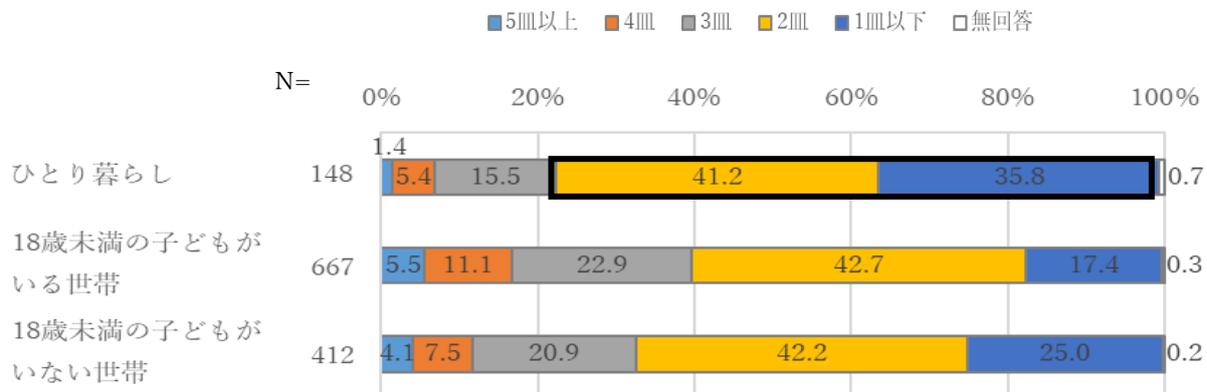
【職業別】

職業別で見ると、他に比べ、無職で「2皿」「1皿以下」の割合が高く、72.8%となっている。



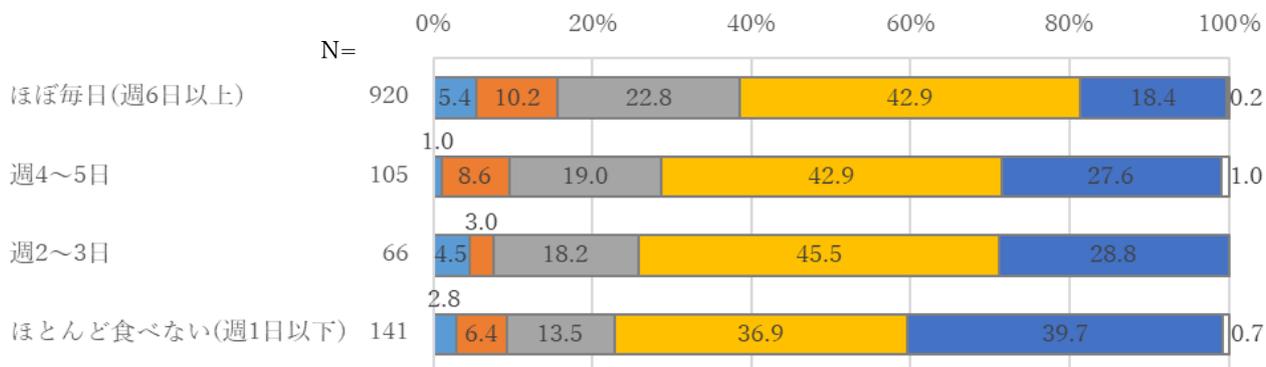
【世帯構成別】

世帯構成別で見ると、他に比べ、ひとり暮らしで「2皿」「1皿以下」の割合が高く、77.0%となっている。



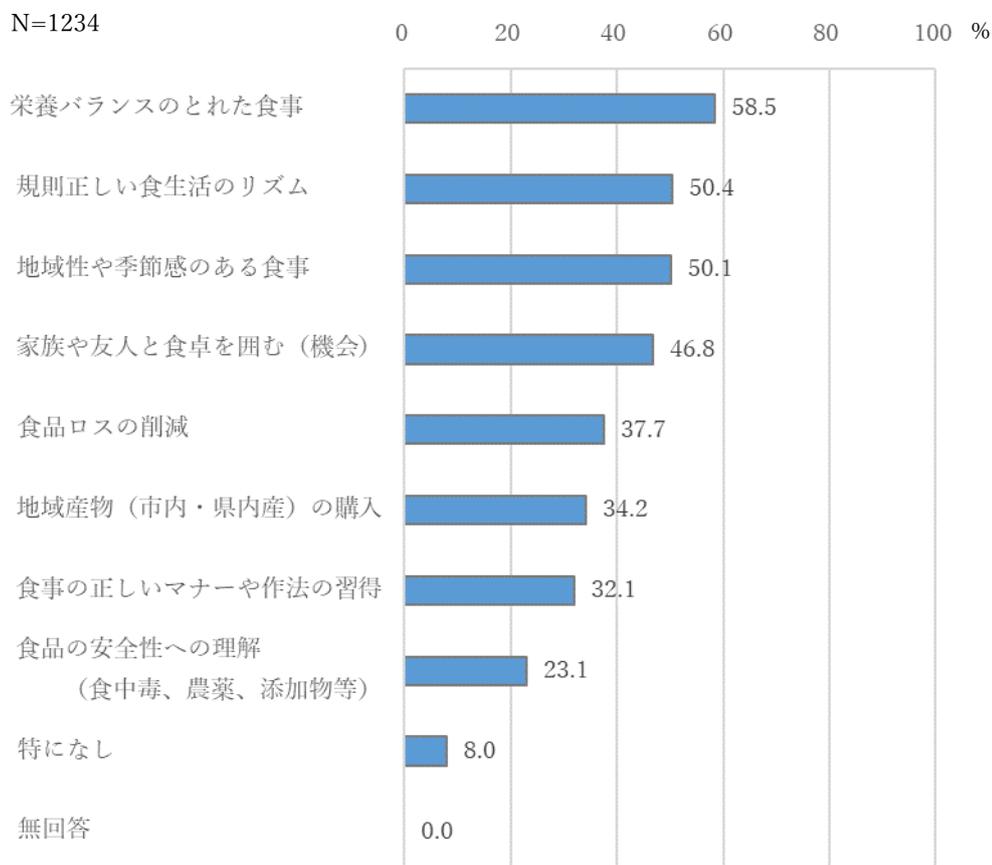
【朝食の摂取状況別】

朝食の摂取状況別で見ると、摂取頻度が低くなるにつれて「2皿」「1皿以下」の割合が高くなっている。



問6 あなたが、日頃、食育の取組として実施していることは何ですか。
 (あてはまるものすべて選択)

「栄養バランスのとれた食事」の割合が58.5%と最も高く、次いで「規則正しい食生活のリズム」の割合が50.4%、「地域性や季節感のある食事」が50.1%となっている。



【年齢別（10歳刻み）】

年齢別でみると、他に比べ、15～19歳で「規則正しい食生活のリズム」の割合が高くなっている。一方、20歳代で「栄養バランスのとれた食事」「規則正しい食生活のリズム」「家族や友人と食卓を囲む（機会）」「食事の正しいマナーや作法の習得」の割合が低く、「特になし」の割合が高くなっている。

単位：％

区分	有効回答数(件)	栄養バランスのとれた食事	規則正しい食生活のリズム	地域性や季節感のある食事	家族や友人と食卓を囲む(機会)	食品ロスの削減	購入	地域産物(市内・県内産)の習得	食事の正しいマナーや作法	毒、農薬、添加物等)	食品の安全性への理解(食中)	特になし	無回答
15～19歳	99	54.5	57.6	21.2	56.6	43.4	12.1	46.5	33.3	5.1	-		
20歳代	236	47.9	34.7	24.6	44.9	44.1	17.4	28.0	32.2	12.7	-		
30歳代	416	60.1	52.9	35.8	51.7	45.0	24.0	33.7	35.1	6.7	-		
40歳代	478	63.0	54.6	34.7	49.6	50.4	27.0	35.6	43.5	6.1	-		

【性・年齢別（10歳刻み）】

性・年齢別でみると、女性の15～20歳代で「家族や友人と食卓を囲む（機会）」の割合が最も高くなっている。

単位：％

区分	有効回答数(件)	栄養バランスのとれた食事	規則正しい食生活のリズム	地域性や季節感のある食事	家族や友人と食卓を囲む(機会)	食品ロスの削減	購入	地域産物(市内・県内産)の習得	食事の正しいマナーや作法	毒、農薬、添加物等)	食品の安全性への理解(食中)	特になし	無回答
男性 15～19歳	38	63.2	63.2	28.9	60.5	52.6	7.9	42.1	39.5	5.3	-		
20歳代	79	51.9	36.7	17.7	36.7	39.2	10.1	19.0	27.8	15.2	-		
30歳代	147	55.1	43.5	29.3	42.9	45.6	22.4	26.5	34.7	8.2	-		
40歳代	155	56.1	48.4	23.9	40.0	40.6	19.4	23.9	30.3	11.6	-		
女性 15～19歳	57	50.9	52.6	17.5	54.4	36.8	5.3	47.4	29.8	5.3	-		
20歳代	153	45.1	32.0	28.1	47.7	46.4	5.2	32.0	33.3	11.8	-		
30歳代	265	63.0	58.5	39.2	56.2	44.5	12.5	37.0	35.8	6.0	-		
40歳代	320	66.3	57.8	40.3	53.8	55.3	9.4	41.3	50.0	3.4	-		

【職業別】

職業別でみると、無職で「食品ロスの削減」が最も高くなっている。また、他に比べ、学生で「地域性や季節感のある食事」「食品ロスの削減」「地域産物（市内・県内産）の購入」「食品の安全性への理解（食中毒、農薬、添加物等）」の割合が低くなっている。

単位：％

区分	有効回答数(件)	栄養バランスのとれた食事	規則正しい食生活のリズム	地域性や季節感のある食事	家族や友人と食卓を囲む(機会)	食品ロスの削減	購入	地域産物(市内・県内産)の	食事の正しいマナーや作法の取得	食品の安全性への理解(食中毒、農薬、添加物等)	特になし	無回答
勤め人(パート含む)	816	56.6	48.5	31.4	48.0	45.6	22.7	30.3	34.7	7.8	-	
自営業	47	55.3	46.8	36.2	42.6	42.6	23.4	40.4	51.1	17.0	-	
農漁業関係者	1	100.0	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	
専業主婦(主夫)	160	75.0	68.8	48.1	65.6	56.3	35.6	48.8	53.8	1.3	-	
学生	155	52.3	48.4	17.4	51.6	42.6	9.7	40.0	32.3	7.1	-	
無職	22	40.9	27.3	40.9	36.4	54.5	31.8	22.7	36.4	4.5	-	
その他	25	64.0	32.0	32.0	28.0	48.0	32.0	28.0	44.0	24.0	-	

【世帯構成別】

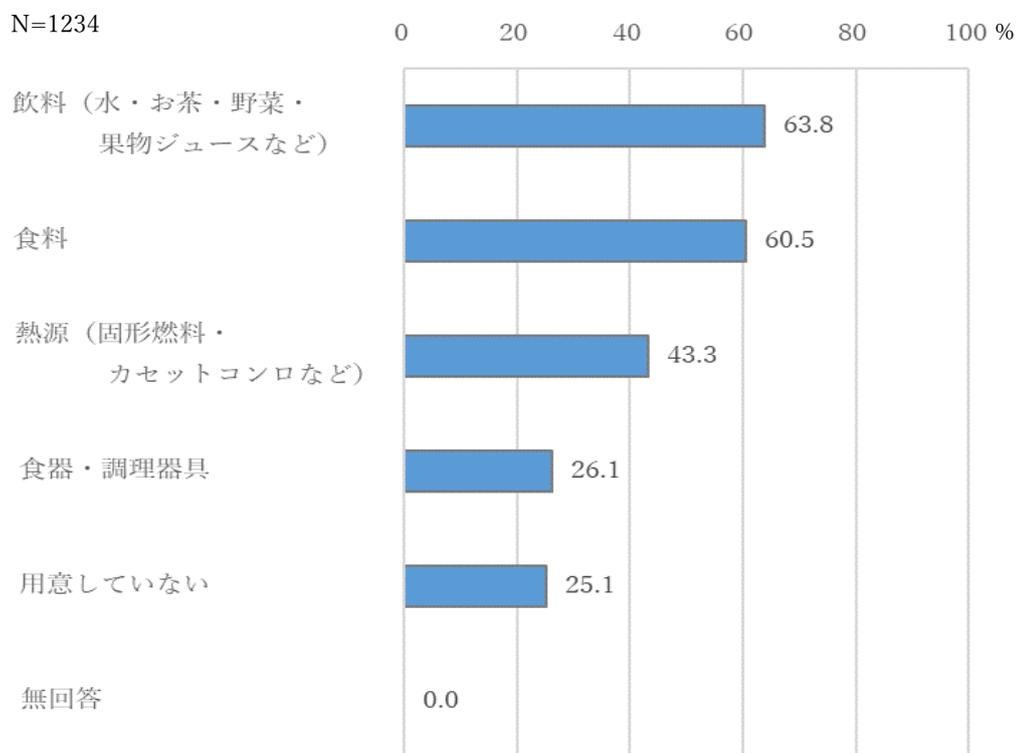
世帯構成別でみると、他に比べ、18歳未満の子どもがいる世帯で「栄養バランスのとれた食事」「規則正しい食生活のリズム」「地域性や季節感のある食事」「家族や友人と食卓を囲む(機会)」「地域産物(市内・県内産)の購入」「食事の正しいマナーや作法の取得」「食品の安全性への理解(食中毒、農薬、添加物等)」の割合が高くなっている。また、ひとり暮らしで「特になし」の割合が高くなっている。

単位：％

区分	有効回答数(件)	栄養バランスのとれた食事	規則正しい食生活のリズム	地域性や季節感のある食事	家族や友人と食卓を囲む(機会)	食品ロスの削減	購入	地域産物(市内・県内産)の	食事の正しいマナーや作法の取得	食品の安全性への理解(食中毒、農薬、添加物等)	特になし	無回答
ひとり暮らし	148	48.6	29.7	22.3	12.2	48.6	18.9	20.9	33.1	14.2	-	
18歳未満の子どもがいる世帯	667	64.0	57.7	34.0	61.6	46.2	25.0	43.9	41.2	4.5	-	
18歳未満の子どもがいない世帯	412	53.4	46.1	32.5	44.9	47.1	21.4	22.8	33.7	9.7	-	

問7 あなたの家では、非常用の食料・食器・熱源などを用意していますか。
(あてはまるものすべて選択)

「飲料（水・お茶・野菜・果物ジュース）」の割合が63.8%と最も高く、次いで「食料」の割合が60.5%、「熱源（固形燃料・カセットコンロ）」の割合が43.3%となっている。



【世帯構成別】

世帯構成別でみると、他に比べ、ひとり暮らしで「用意していない」の割合が高く、43.2%となっている。

単位：%

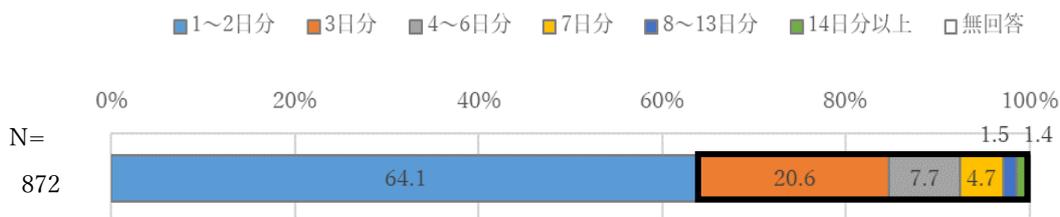
区分	有効回答数(件)	飲料(水・お茶・野菜・果物ジュースなど)	食料	熱源(固形燃料・カセットコンロなど)	用意していない	食器・調理器具	無回答
ひとり暮らし	148	48.6	42.6	15.5	43.2	13.5	-
18歳未満の子どもがいる世帯	667	68.5	66.3	50.5	19.3	30.4	-
18歳未満の子どもがいない世帯	412	61.2	57.0	41.0	28.2	22.6	-

問7で「食料」「飲料（水・お茶・野菜・果物ジュースなど）」と答えた方にお聞きします。

問7-1 あなたの家庭での備蓄は、家族全員で何日分ですか。（それぞれ1つだけ選択）

(1) 飲料水 （※飲料水の1日分は、1人3リットルを目安と考える。）

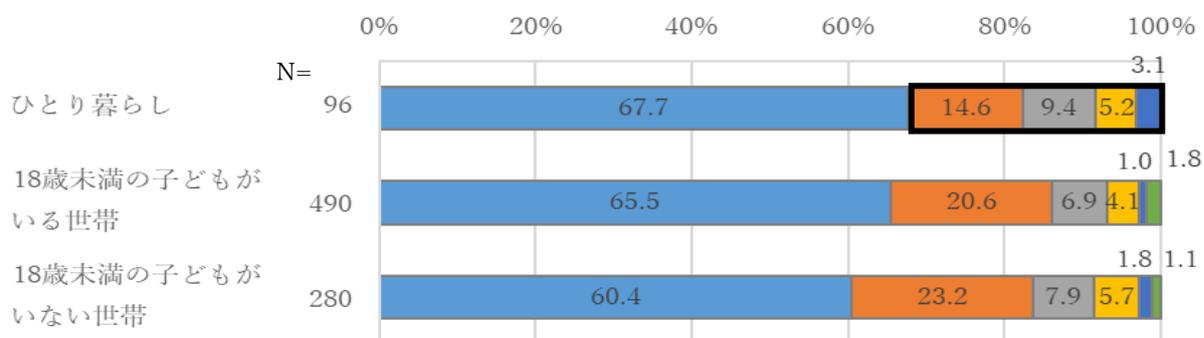
「3日分」以上の割合は35.9%となっている。



問9で「5. 用意していない」と回答したが、本質問に回答した85人を含む。

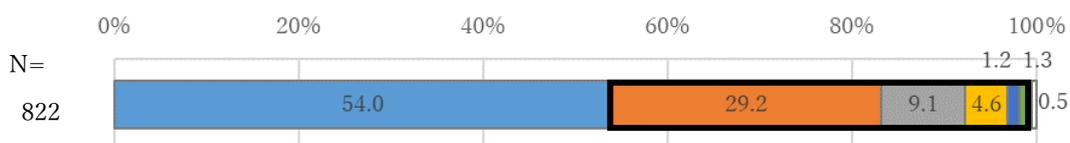
【世帯構成別】

世帯構成別でみると、他に比べ、ひとり暮らしで「3日分」以上の割合が低く、32.3%となっている。



(2) 食料品 （※食料品の1日分は、3食分を目安と考える。）

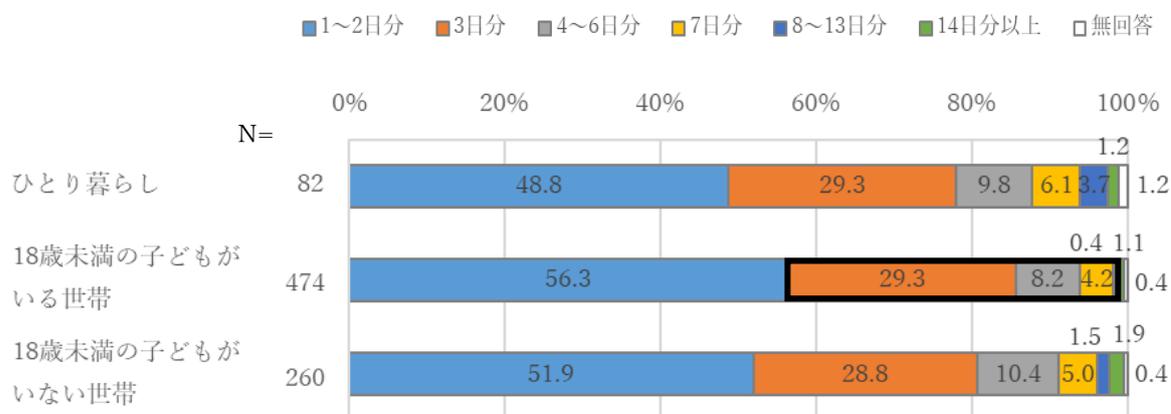
「3日分」以上の割合は45.4%となっている。



問9で「5. 用意していない」と回答したが、本質問に回答した76人を含む。

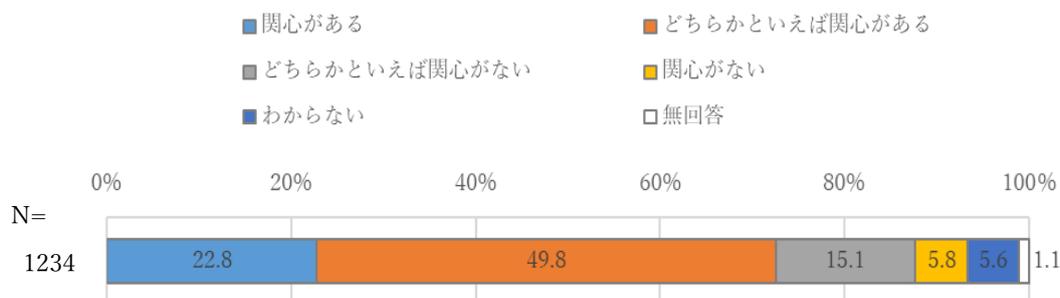
【世帯構成別】

世帯構成別でみると、他に比べ、18歳未満の子どもがいる世帯で「3日分」以上の割合が低く、43.2%となっている。



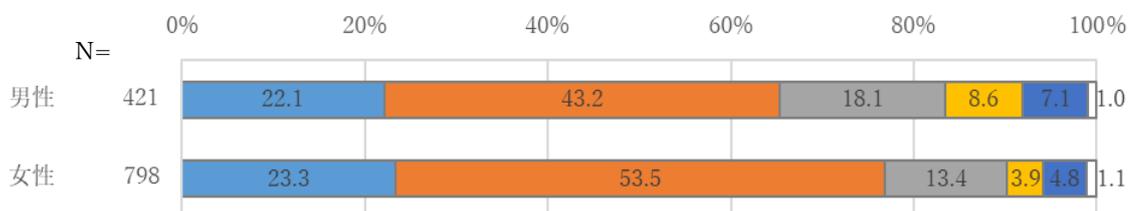
問8 あなたは、「食育」に関心がありますか。(1つだけ選択)

「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」をあわせた“関心がある”の割合が 72.6%、「関心がない」と「どちらかといえば関心がない」をあわせた“関心がない”の割合が 20.9%となっている。



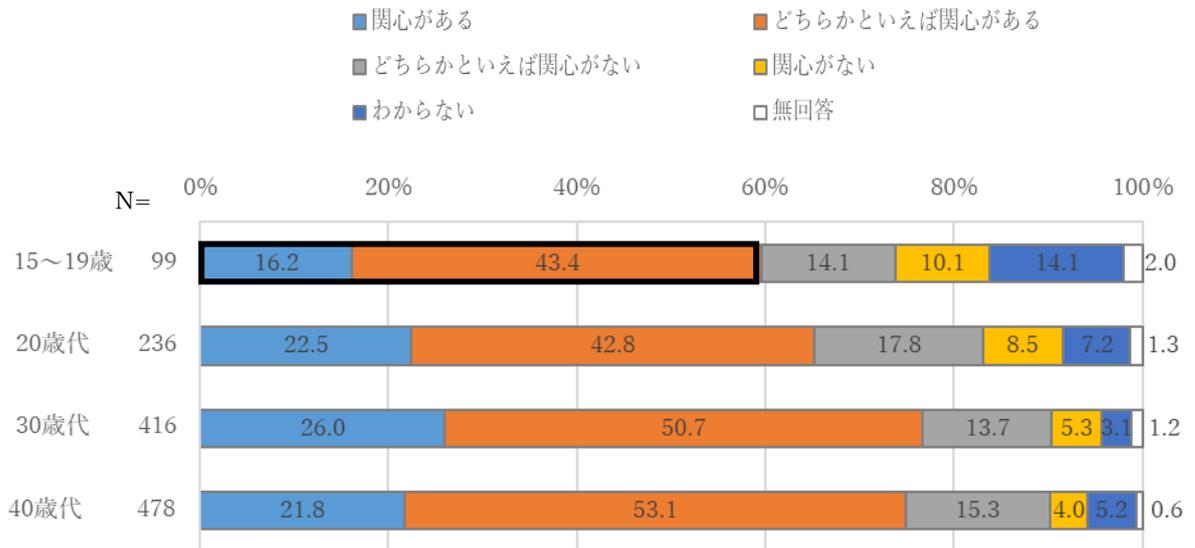
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“関心がある”の割合が低く、65.3%となっている。



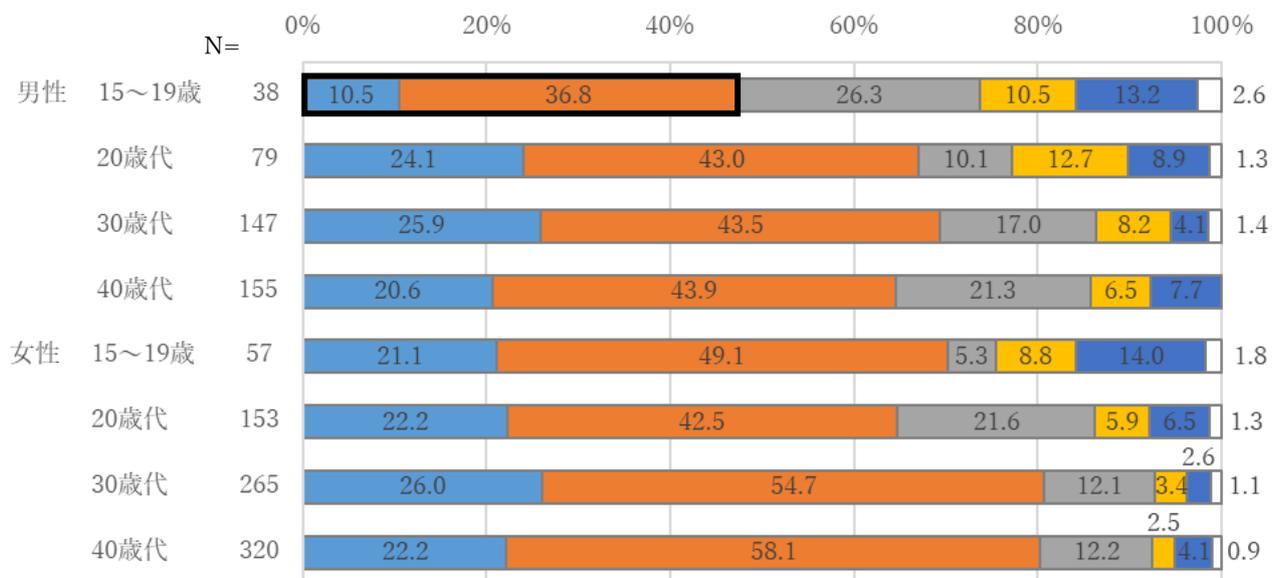
【年齢別（10歳刻み）】

年齢別で見ると、他に比べ、15～19歳で“関心がある”の割合が低く、59.6%となっている。



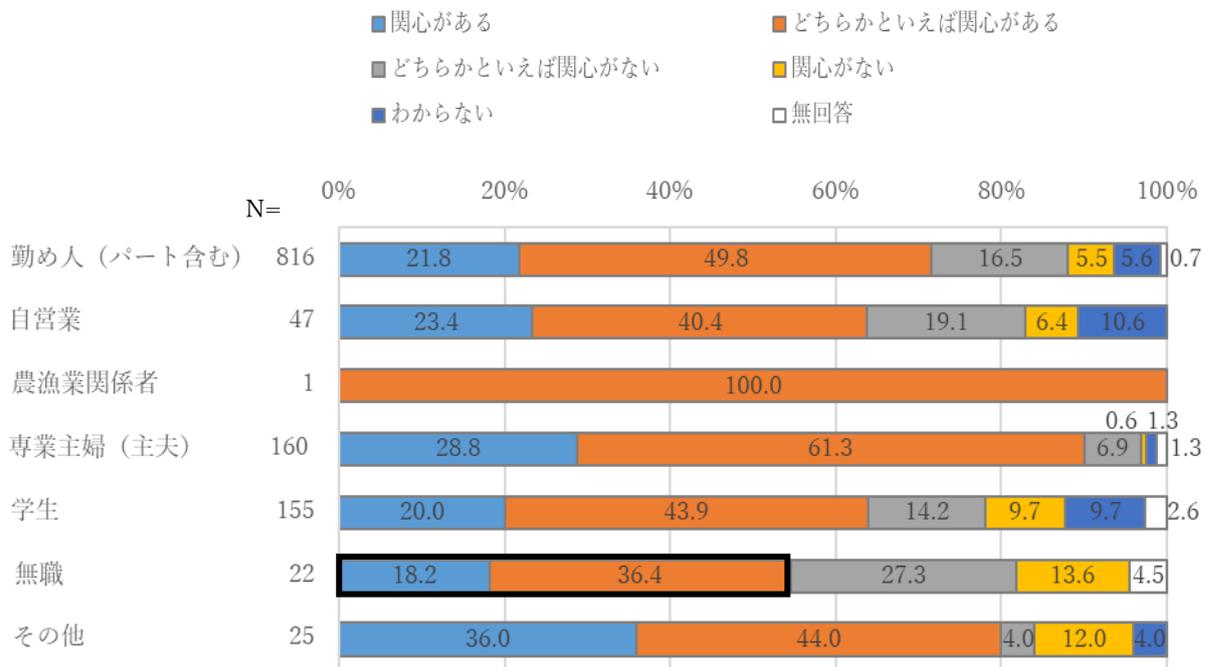
【性・年齢別（10歳刻み）】

性・年齢別で見ると、いずれの年代も、女性に比べ、男性で“関心がある”の割合が低く、特に、男性の15～19歳で47.3%となっている。



【職業別】

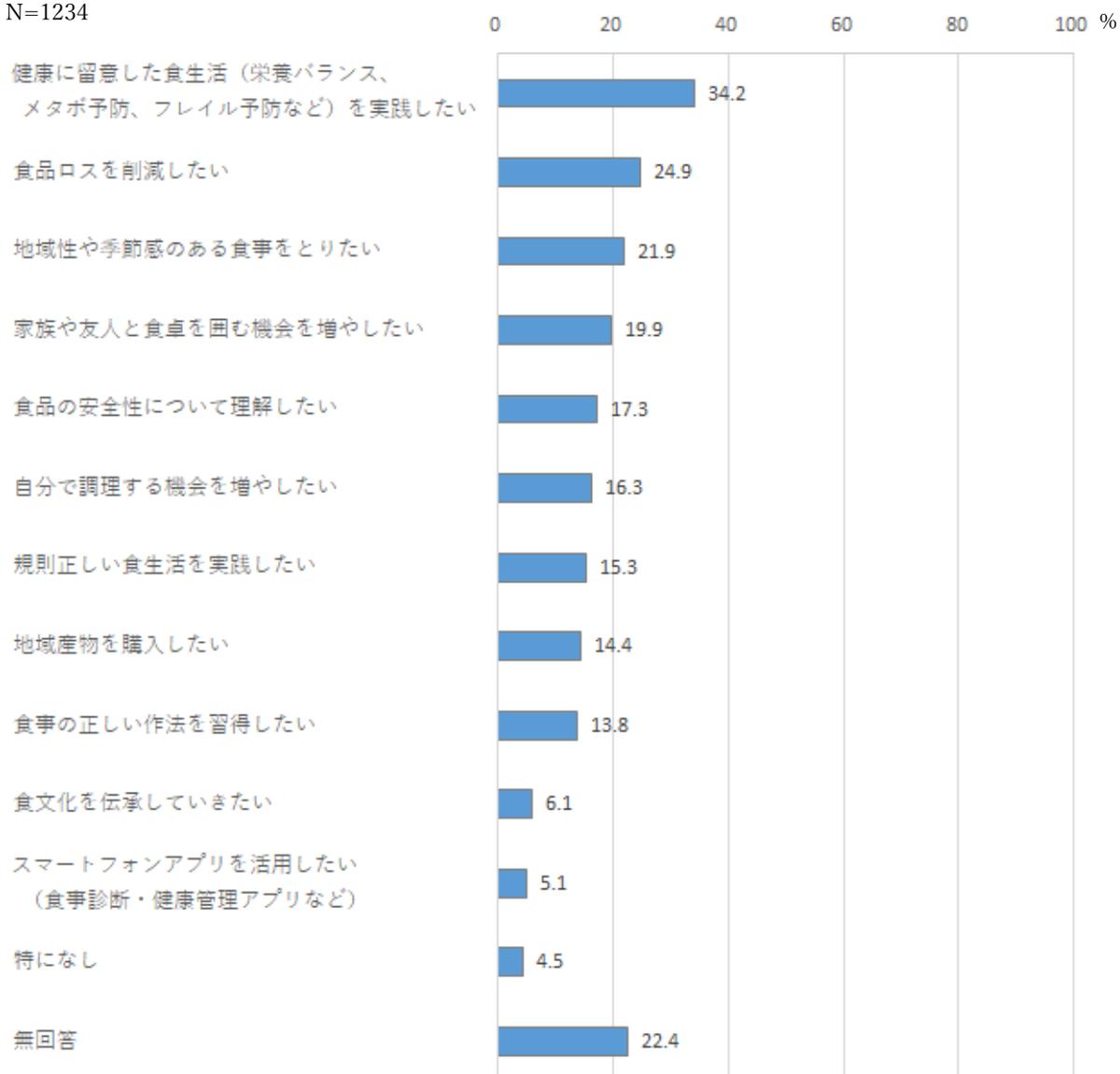
職業別でみると、他に比べ、無職で“関心がある”の割合が低く、54.6%となっている。



問9 あなたが、今後、特に力を入れたい食育の取組は何ですか。(3つまで選択)

「健康に留意した食生活（栄養バランス、メタボ予防、フレイル予防など）を実践したい」の割合が34.2%と最も高く、次いで「食品ロスを削減したい」の割合が24.9%、「地域性や季節感のある食事をとりたい」の割合が21.9%となっている。

N=1234



【性・年齢別（10歳刻み）】

性・年齢別でみると、男性の15～19歳で「食品ロスを削減したい」の割合が最も高くなっており、女性の15～20歳代で「自分で調理する機会を増やしたい」の割合が最も高くなっている。

単位：%

区分	有効回答数(件)	健康に留意した食生活(栄養バランス、メタボ予防、フレイル予防など)を実践したい	食品ロスを削減したい	地域性や季節感のある食事をとりたい	家族や友人と食卓を囲む機会を増やしたい	食品の安全性について理解したい	自分で調理する機会を増やしたい	規則正しい食生活を実践したい	地域産物を購入したい	食事の正しい作法を習得したい	食文化を伝承していきたい	スマートフォンアプリを活用したい(食事診断・健康管理アプリなど)	特になし	無回答
男性 15～19歳	38	15.8	31.6	10.5	23.7	5.3	28.9	15.8	10.5	15.8	-	7.9	10.5	26.3
20歳代	79	41.8	19.0	21.5	19.0	16.5	25.3	20.3	7.6	16.5	7.6	7.6	7.6	15.2
30歳代	147	29.9	21.8	23.8	25.2	17.7	15.0	12.9	19.7	10.9	5.4	3.4	6.1	21.1
40歳代	155	34.2	32.9	20.6	22.6	21.3	16.8	19.4	22.6	12.9	4.5	5.2	5.2	14.2
女性 15～19歳	57	22.8	28.1	14.0	22.8	7.0	35.1	14.0	5.3	28.1	7.0	10.5	5.3	17.5
20歳代	153	26.1	17.0	18.3	15.0	7.2	24.8	19.0	12.4	14.4	5.9	5.9	5.9	28.8
30歳代	265	36.2	23.4	23.4	20.4	21.1	14.7	13.6	14.0	14.7	5.7	4.2	2.3	24.9
40歳代	320	41.6	27.8	25.6	16.6	19.4	7.5	12.8	14.1	11.3	7.8	3.8	3.4	24.1

【職業別】

職業別で見ると、他に比べ、学生で「自分で調理する機会を増やしたい」「食事の正しい作法を習得したい」の割合が高くなっている。

単位：%

区分	有効回答数(件)	健康に留意した食生活(栄養バランス、メタボ予防、フレイル予防など)を実践したい	食品ロスを削減したい	地域性や季節感のある食事をとりたい	家族や友人と食卓を囲む機会を増やしたい	食品の安全性について理解したい	自分で調理する機会を増やしたい	規則正しい食生活を実践したい	地域産物を購入したい	食事の正しい作法を習得したい	食文化を伝承していきたい	スマートフォンプリを活用したい(食事診断・健康管理アプリなど)	特になし	無回答
勤め人(パート含む)	816	35.7	26.1	22.2	20.1	16.9	15.7	16.4	14.7	12.6	5.5	5.4	4.3	21.8
自営業	47	31.9	21.3	27.7	27.7	23.4	14.9	4.3	31.9	10.6	10.6	2.1	4.3	14.9
農漁業関係者	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
専業主婦(主夫)	160	39.4	20.6	26.3	19.4	24.4	8.1	13.8	13.8	11.9	8.1	3.1	1.3	26.9
学生	155	24.5	25.2	12.3	21.3	7.1	31.0	15.5	6.5	23.2	5.2	6.5	7.1	24.5
無職	22	31.8	27.3	27.3	4.5	27.3	18.2	18.2	22.7	13.6	9.1	4.5	13.6	9.1
その他	25	24.0	16.0	28.0	8.0	28.0	4.0	4.0	16.0	4.0	4.0	8.0	12.0	32.0

【食育への関心別】

食育への関心別でみると、食育への関心が薄くなるにつれ「特になし」の割合が高くなっている。

単位：%

区分	有効回答数(件)	健康に留意した食生活(栄養バランス、メタボ予防、フレイル予防など)を実践したい	食品ロスを削減したい	地域性や季節感のある食事をとりたい	家族や友人と食卓を囲む機会を増やしたい	食品の安全性について理解したい	自分で調理する機会を増やしたい	規則正しい食生活を実践したい	地域産物を購入したい	食事の正しい作法を習得したい	食文化を伝承していきたい	断・健康管理アプリなど)	特になし	無回答
関心がある	281	35.6	23.8	26.0	19.2	23.8	15.3	11.7	17.8	16.4	10.3	4.3	0.7	24.6
どちらかといえば関心がある	614	37.5	23.9	23.5	18.4	18.6	15.8	14.0	15.3	11.9	5.7	4.6	0.7	28.2
どちらかといえば関心がない	186	28.0	31.2	18.8	23.1	11.8	18.8	25.8	9.7	16.1	2.7	8.1	7.0	11.3
関心がない	71	21.1	28.2	11.3	25.4	5.6	15.5	7.0	9.9	5.6	5.6	1.4	35.2	4.2
わからない	69	29.0	21.7	11.6	20.3	7.2	18.8	17.4	11.6	21.7	2.9	10.1	15.9	11.6

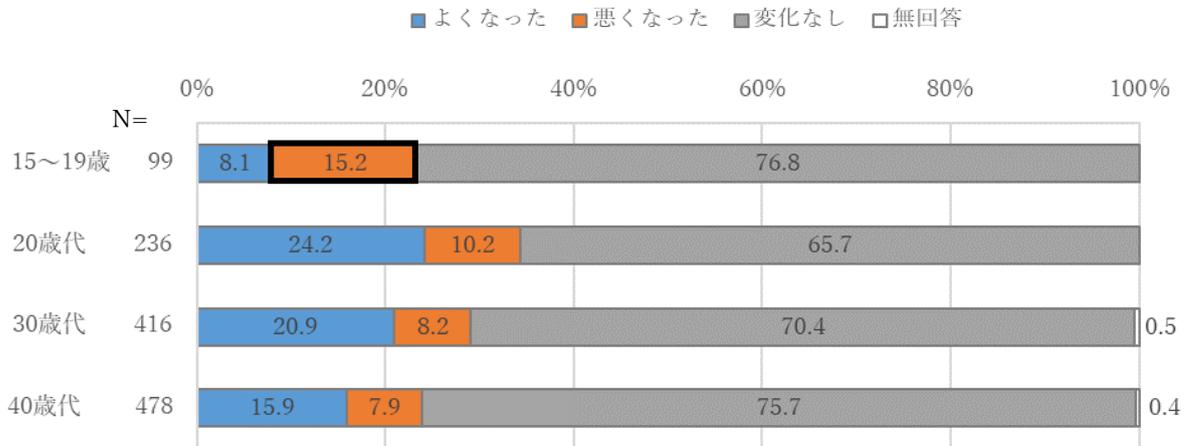
問10 新型コロナウイルス感染症拡大前(令和2年1月時点)と現在を比べて、あなたの食生活は変化しましたか。(1つだけ選択)

「よくなった」の割合が18.6%、「悪くなった」の割合が9.0%、「変化なし」の割合が72.1%となっている。



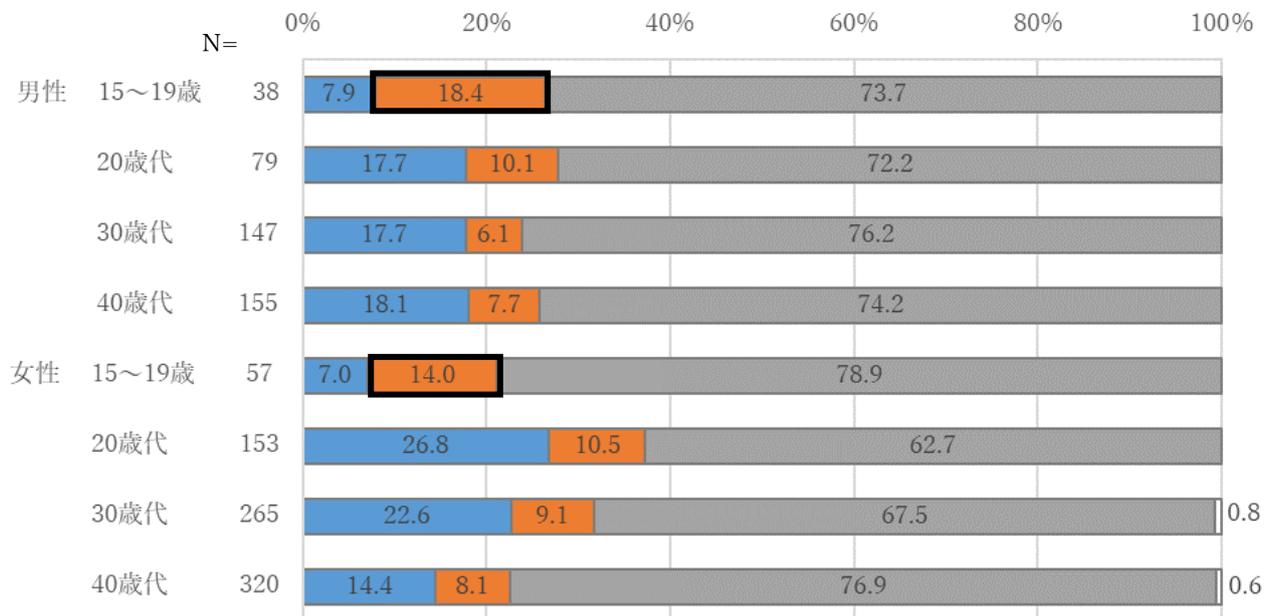
【年齢別（10歳刻み）】

年齢別で見ると、15～19歳で「よくなった」に比べ「悪くなった」の割合が高く、15.2%となっている。



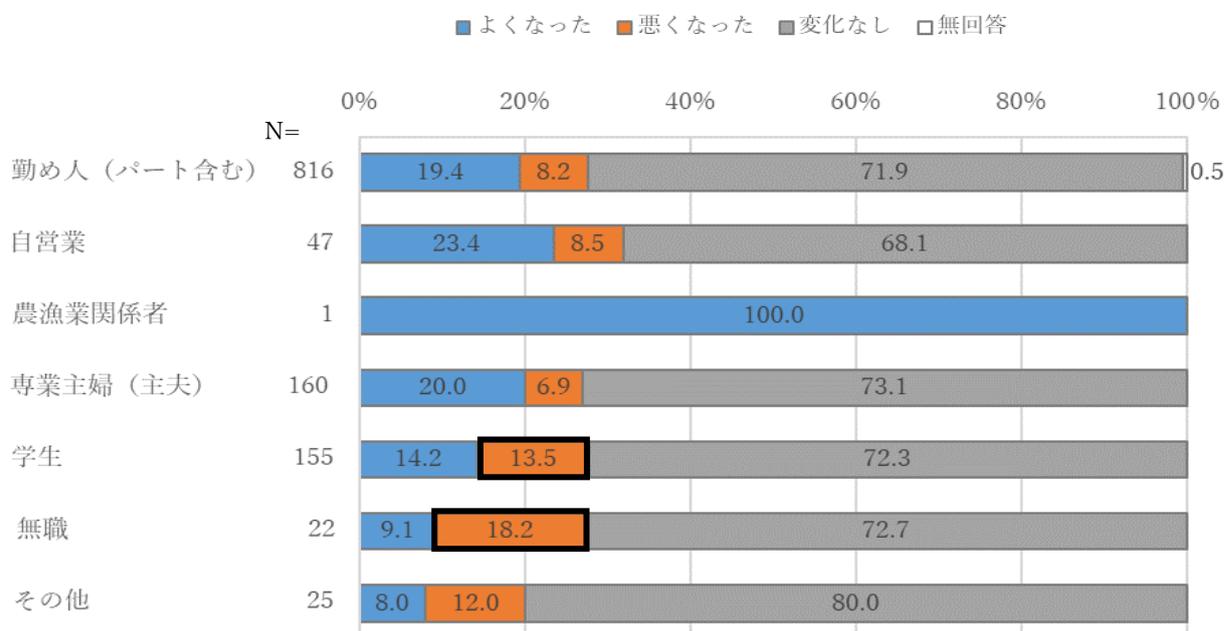
【性・年齢別（10歳刻み）】

性・年齢別で見ると、男女とも、15～19歳で「悪くなった」の割合が高く、それぞれ18.4%、14.0%となっている。



【職業別】

職業別でみると、他に比べ、無職、学生で「悪くなった」の割合が高く、それぞれ18.2%、13.5%となっている。



問10で「よくなった」と答えた方にお聞きします。

問10-1 どのような影響がありますか。(自由記載)

「自炊が増えた」「栄養バランスを考えるようになった」「共食が増えた」「規則正しい生活になった」といったものが多かった。

【抜粋】

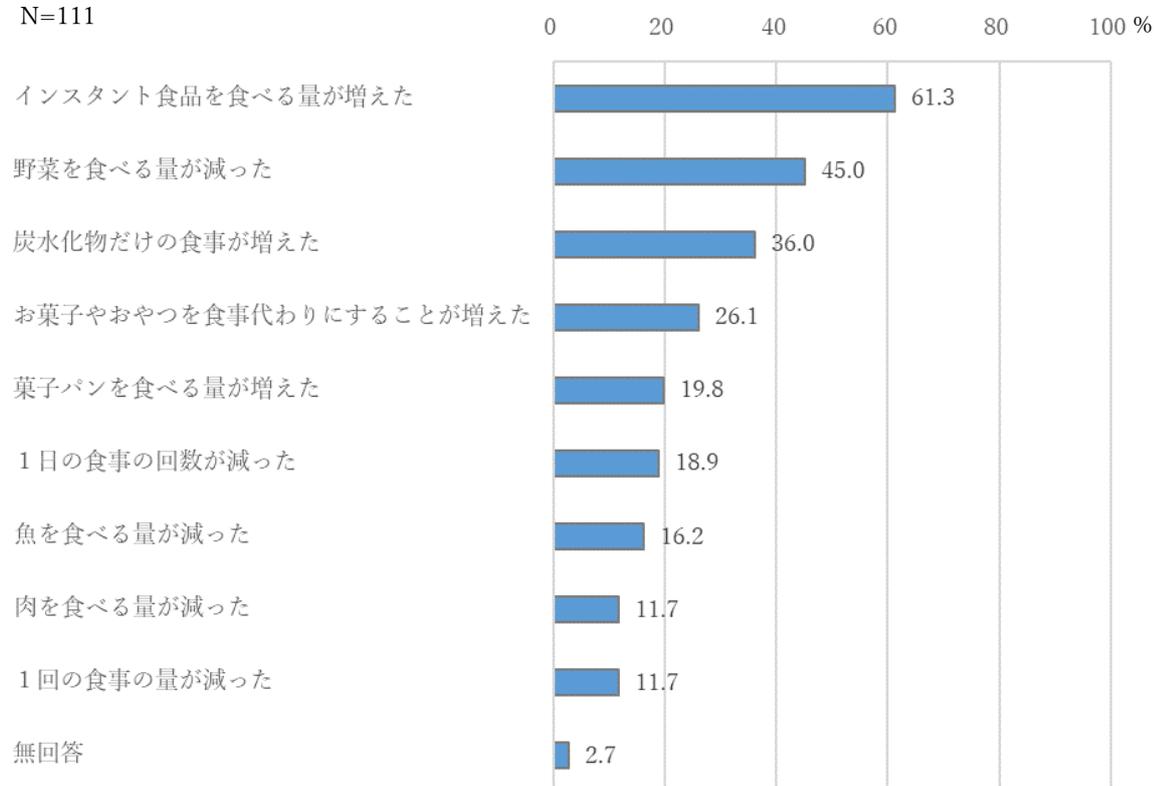
- ・調理 … 自炊が増えた。外食が減り、自炊が増えた。
栄養バランスを考えて作るようになった。
調理にかかる時間が確保でき、品数・レパートリーが増えた。
- ・共食 … 家族と食事をする機会が増えた。
- ・食品ロス … まとめ買いをし、食品ロスが減った。
- ・健康意識 … 朝食を食べるようになった。食事をしっかり食べるようになった。
規則正しい生活になった。食材にこだわるようになった。(野菜・発酵食品等)
飲酒の機会・量が減った。

問 10 で「悪くなった」と答えた方にお聞きします。

問 10-2 どのような影響がありますか。(あてはまるものすべて選択)

「インスタント食品を食べる量が増えた」の割合が 61.3%と最も高く、次いで「野菜を食べる量が減った」の割合が 45.0%、「炭水化物だけの食事が増えた」の割合が 36.0%となっている。

N=111



【年齢別（10歳刻み）】

年齢別でみると、他に比べ、15～19歳で「1日の食事の回数が減った」の割合が高くなっている。

単位：%

区分	有効回答数(件)	が増えた インスタント食品を食べる量	野菜を食べる量が減った	炭水化物だけの食事が増えた	お菓子やおやつを食事代わりにすることが増えた	菓子パンを食べる量が増えた	1日の食事の回数が減った	魚を食べる量が減った	肉を食べる量が減った	1回の食事の量が減った	無回答
15～19歳	15	33.3	26.7	20.0	40.0	13.3	46.7	6.7	-	26.7	6.7
20歳代	24	70.8	50.0	29.2	29.2	20.8	29.2	12.5	16.7	12.5	-
30歳代	34	67.6	44.1	32.4	17.6	14.7	8.8	20.6	11.8	8.8	5.9
40歳代	38	60.5	50.0	50.0	26.3	26.3	10.5	18.4	13.2	7.9	-

【性・年齢別（10歳刻み）】

性・年齢別でみると、他に比べ、男性の15～19歳で「お菓子やおやつを食事代わりにすることが増えた」、20歳代で「野菜を食べる量が減った」、女性の15～19歳で「1日の食事の回数が減った」の割合が高くなっている。

単位：%

区分	有効回答数(件)	が増えた インスタント食品を食べる量	野菜を食べる量が減った	炭水化物だけの食事が増えた	お菓子やおやつを食事代わりにすることが増えた	菓子パンを食べる量が増えた	1日の食事の回数が減った	魚を食べる量が減った	肉を食べる量が減った	1回の食事の量が減った	無回答
男性 15～19歳	7	28.6	14.3	28.6	42.9	-	28.6	-	-	14.3	14.3
20歳代	8	50.0	75.0	12.5	25.0	12.5	37.5	37.5	25.0	12.5	-
30歳代	9	66.7	55.6	22.2	-	22.2	11.1	33.3	22.2	-	11.1
40歳代	12	66.7	50.0	66.7	8.3	8.3	8.3	25.0	16.7	8.3	-
女性 15～19歳	8	37.5	37.5	12.5	37.5	25.0	62.5	12.5	-	37.5	-
20歳代	16	81.3	37.5	37.5	31.3	25.0	25.0	-	12.5	12.5	-
30歳代	24	66.7	41.7	37.5	25.0	8.3	4.2	16.7	8.3	12.5	4.2
40歳代	26	57.7	50.0	42.3	34.6	34.6	11.5	15.4	11.5	7.7	-

【職業別】

職業別で見ると、他に比べ、学生で「お菓子やおやつを食事代わりにすることが増えた」の割合が高くなっている。

単位：%

区分	有効回答数(件)	が増えた	インスタント食品を食べる量が減った	野菜を食べる量が減った	炭水化物だけの食事が増えた	お菓子やおやつを食事代わりにすることが増えた	菓子パンを食べる量が減った	1日の食事の回数が減った	魚を食べる量が減った	肉を食べる量が減った	1回の食事の量が減った	無回答
勤め人(パート含む)	67	67.2	44.8	43.3	22.4	23.9	11.9	19.4	11.9	7.5	3.0	
自営業	4	75.0	75.0	50.0	25.0	25.0	50.0	25.0	25.0	-	-	
専業主婦(主夫)	11	63.6	72.7	18.2	36.4	27.3	9.1	9.1	9.1	-	-	
学生	21	42.9	28.6	23.8	38.1	4.8	38.1	4.8	-	23.8	4.8	
無職	4	50.0	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-	
その他	3	33.3	33.3	33.3	-	-	33.3	33.3	66.7	66.7	-	

Ⅲ 子育て世帯とひとり親家庭の比較(抜粋)

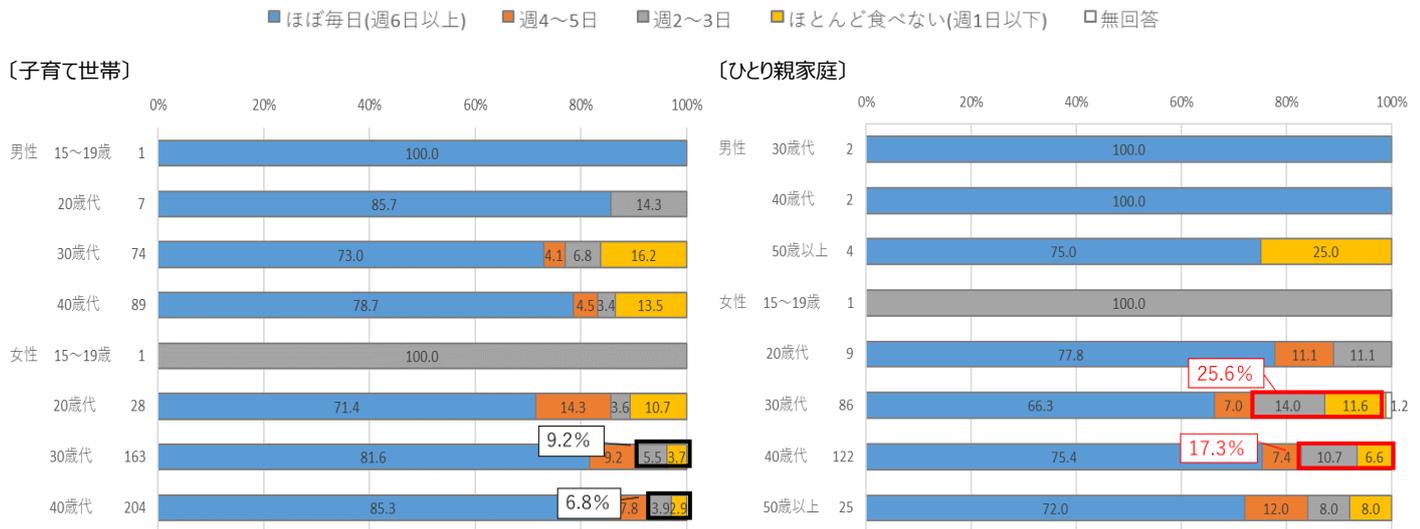
《ひとり親家庭調査の概要》

- ◇ 調査対象 ひとり親家庭の神戸市民 約 1,300 人 (本市 LINE 登録者)
- ◇ 調査期間 令和 3 年 1 月 4 日から令和 3 年 1 月 19 日
- ◇ 調査方法 LINE による配信・インターネット調査
- ◇ 回収率 約 20.5% (267 件回収) ※集計対象：256 件

※「子育て世帯」とは、無作為抽出アンケート回答者のうち、世帯構成が“18歳未満の子どもがいる世帯”で、職業が“学生”と回答した人を除いたもの。

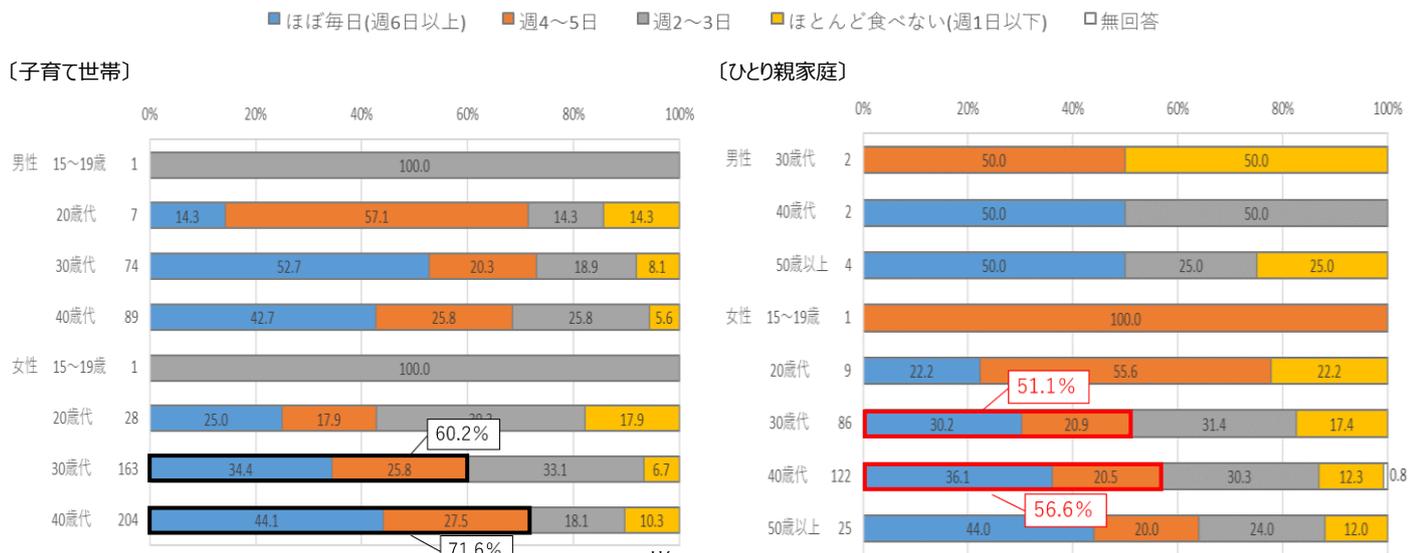
(1) 朝食の摂取状況

- ・女性の 30 歳代、40 歳代でみると、ひとり親家庭のほうが“朝食を欠食している”割合が高い。



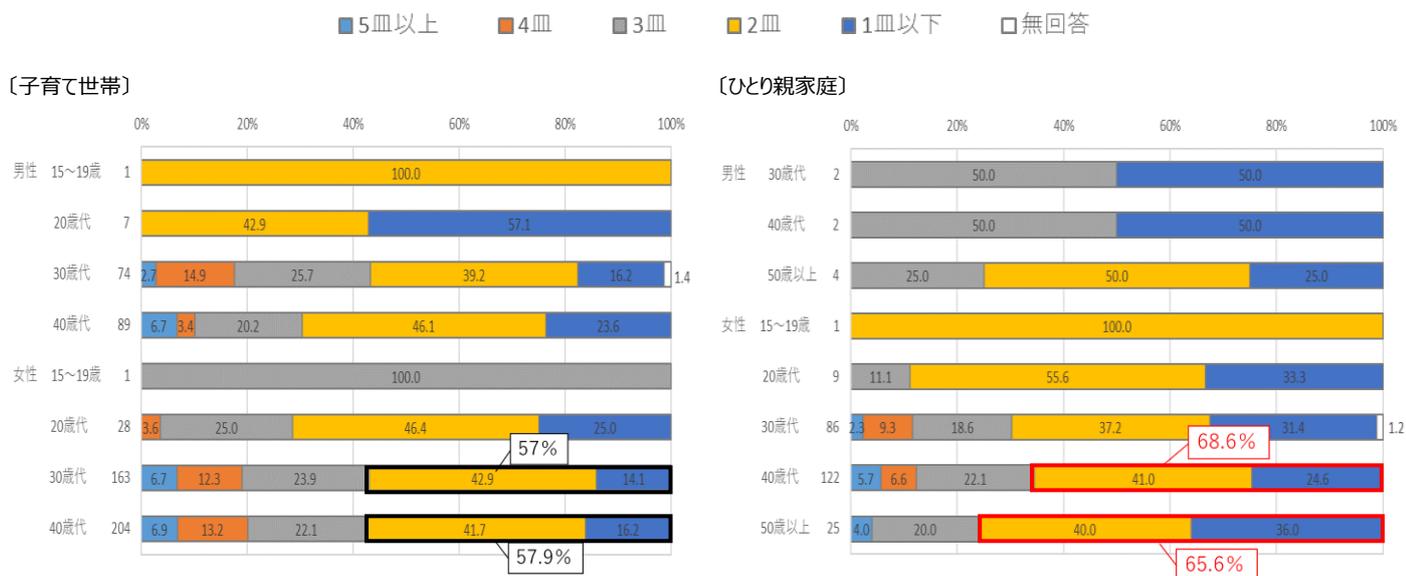
(2) 主食・主菜・副菜のそろった食事頻度

- ・女性の 30 歳代、40 歳代でみると、ひとり親家庭のほうが“主食・主菜・副菜がそろっている”割合が低い。



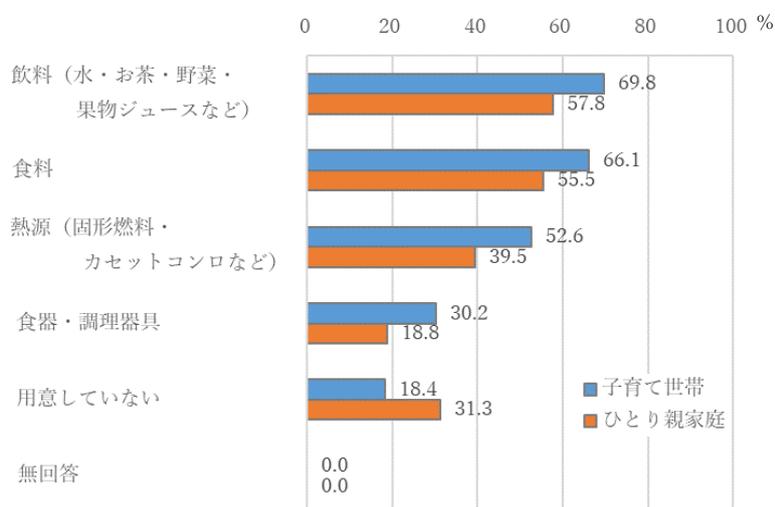
(3) 野菜料理の摂取状況

- ・女性の30歳代、40歳代でみると、ひとり親家庭のほうが「2皿」「1皿以下」の割合が高い。



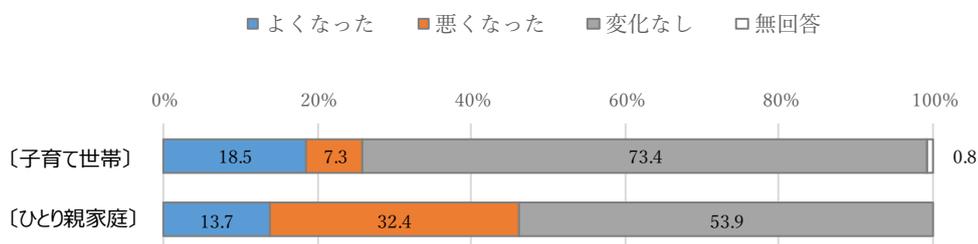
(4) 非常用備蓄状況

- ・ひとり親家庭では、「用意していない」割合が31.3%となっており、子育て世帯に比べて高い。
- ・飲料・食料・熱源・食器とも、ひとり親家庭のほうが備蓄している割合が低い。

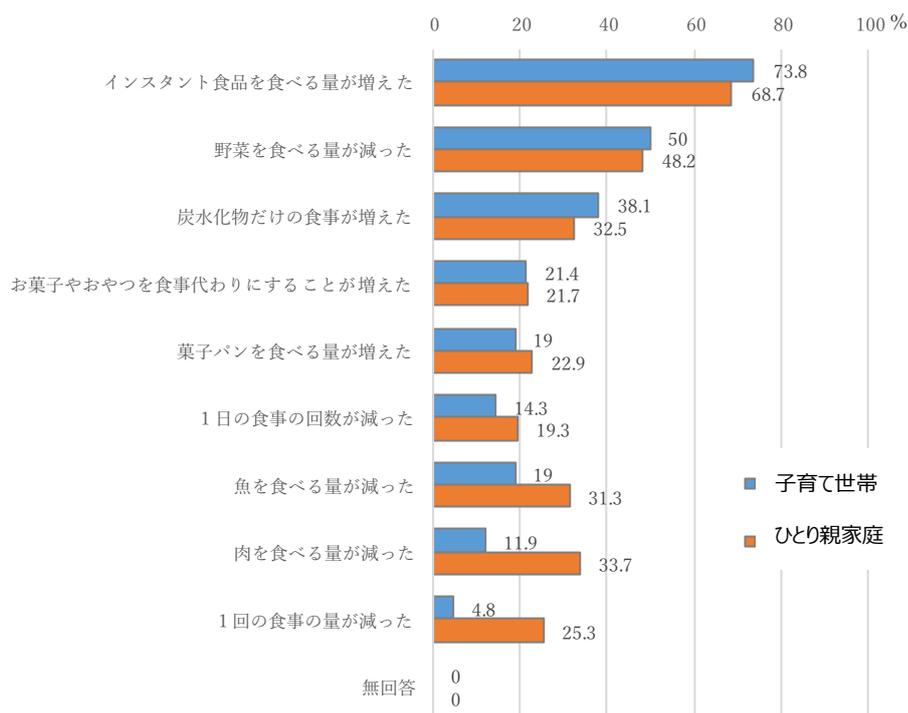


(5) 新型コロナウイルスによる食生活の変化

- ・ひとり親家庭では、新型コロナウイルス感染症拡大前(令和2年1月時点)と現在を比べて、食生活が「悪くなった」の割合が「よくなった」の割合より高い。
- ・「悪くなった」の割合は、子育て世帯7.3%に比べ、ひとり親家庭32.4%と高い。



- ・子育て世帯、ひとり親家庭とも「インスタント食品を食べる量が増えた」割合が最も高く、次いで、「野菜を食べる量が減った」の割合が高い。
- ・ひとり親家庭のほうが「肉を食べる量が減った」「魚を食べる量が減った」「1回の食事の量が減った」の割合が高い。



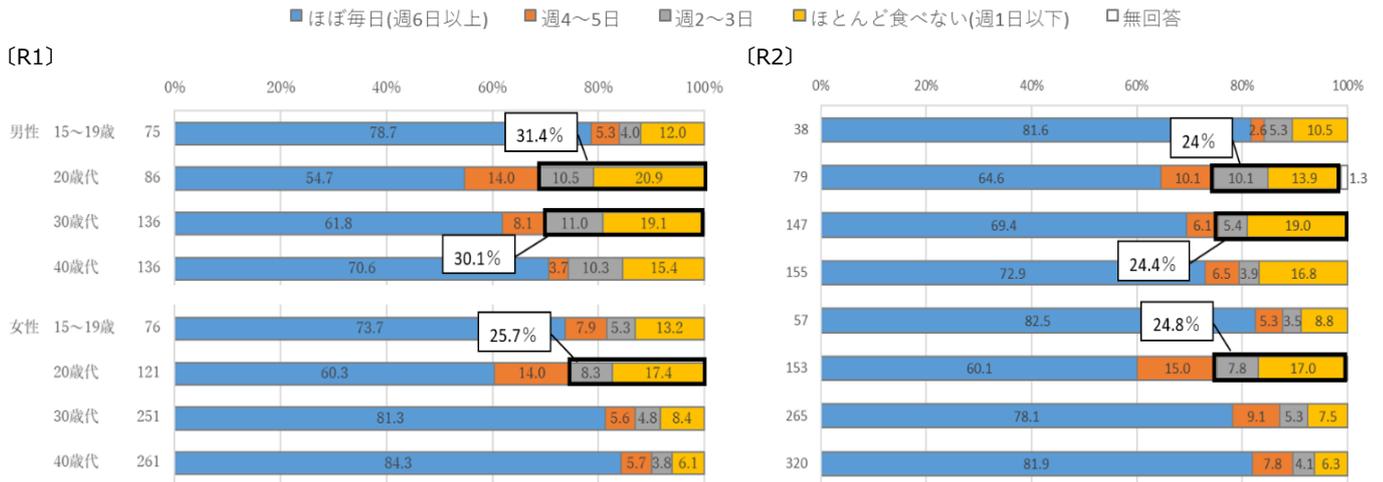
IV 令和元年度調査との比較(抜粋)

《令和元年度調査(以下、R1 と記載)の概要》

- ◇ 調査対象 市内在住の15歳以上80歳未満の方から7,000人を無作為抽出
- ◇ 調査期間 令和2年1月6日から令和2年1月21日
- ◇ 調査方法 15歳以上50歳未満：郵送による配布・インターネット調査
50歳以上80歳未満：郵送による配布・回収またはインターネット調査
- ◇ 回収率 25.8% (1,807件回収)

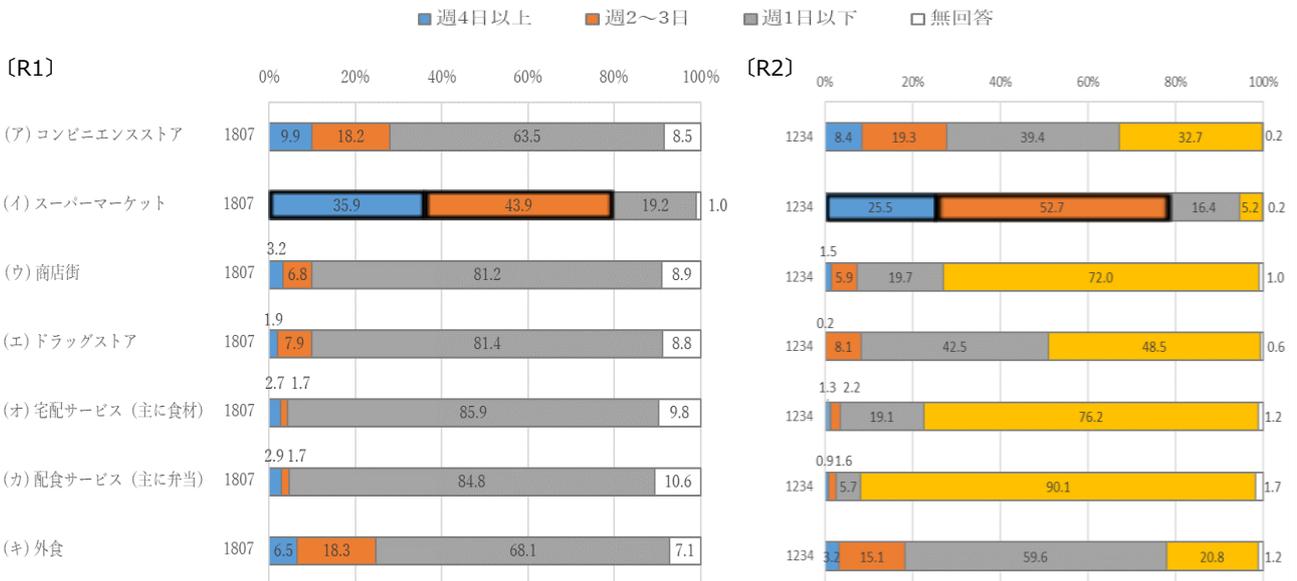
(1) 朝食の摂取状況

- ・R1、R2とも、男性の20歳代、30歳代、女性の20歳代で“朝食を欠食している(週2～3日以下)”割合が高くなっている。
- ・R1と比較すると、男性の20歳代、30歳代、女性の20歳代とも“朝食を欠食している”割合が低くなっており、特に男性で低くなっている。



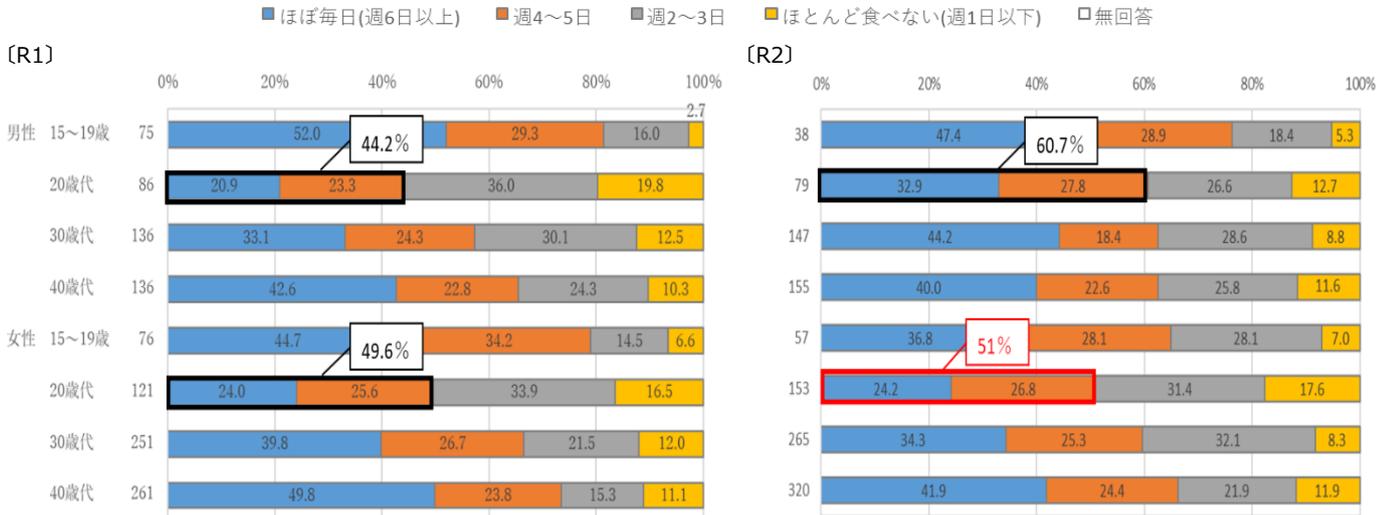
(2) 食品や食事の購入場所

- ・R1と比較すると、スーパーマーケットで「週4日以上」の割合が低く、「週2～3日」の割合が高くなっている。※R1とR2で調査対象年齢が異なることに注意。



(3) 主食・主菜・副菜のそろった食事頻度

- ・R1、R2とも、男女とも20歳代で“主食・主菜・副菜がそろっている（4～5日以上）”割合が低くなっている。
- ・R1と比較すると、男性の20歳代では“主食・主菜・副菜がそろっている”割合が高くなっているが、女性の20歳代では変化なし。



(4) 野菜料理の摂取状況

- ・R1では、男女とも20歳代、R2では、男性の20歳代、40歳代、女性の20歳代で「2皿」「1皿以下」の割合が高くなっている。
- ・R1と比較すると、男性の20歳代、40歳代、女性の40歳代で「2皿」「1皿以下」の割合が高くなっている。

